

令和3年度

**福岡市美術館
活動の記録**

**Fukuoka Art Museum
Annual Report 2021**

凡例	3	調査・研究活動	37
美術館の主要事業	4	紀要の発行	37
美術館日誌	4	収集活動	38
福岡市美術館リニューアル事業	4	美術資料	38
インカ・シヨニバレCBE《ウインド・スカルプチャー (SG)II》の設置について	5	図書・映像資料	47
福岡市美術館ミッションステートメントの決定	6	美術資料の修復・貸出	48
展示活動	7	修復	48
特別企画展	7	貸出	48
公募展	10	美術館リニューアル事業	50
コレクション展	11	広報業務	50
企画展	15	カフェ・レストラン	51
展覧会関連記事	17	ミュージアムショップ	52
教育普及活動	20	施設の利用状況	53
どこでも美術館	20	展示室	53
スクールツアー	22	ミュージアムホール等	59
つきなみ講座	23	令和3年度月別観覧者数	59
福岡ミュージアムウィーク2021	24	名簿	60
夏休みこども美術館2021	25	資料	61
ファミリーDAY	26		
バリアフリーギャラリーツアー	27		
第7回いきヨウヨウ講座	28		
博物館実習	28		
職場体験学習	28		
図書企画	29		
ボランティア活動	30		
出版物	33		
連携・協力事業	35		
三館連携・協力企画	35		
その他の連携企画	35		

本冊子は福岡市美術館の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの活動の記録である。

本冊子の執筆者は次のとおり。それぞれの肩書きについてはp.60の名簿を参照のこと。
岩永悦子、鬼本佳代子、後藤恒、正路佐知子、崎田明香、渡抜由季、宮田太樹、忠あゆみ、中務美紀、上野真歩、中原千代子(以上、学芸課)、道下志保(事業管理課)

データの寸法(法量)は、例えば平面作品の146.2×112.3は縦146.2、横112.3(イメージサイズ)で、立体作品の74.3×46.0×11.0は高さ74.3、幅46.0、奥行き11.0で、単位はセンチメートルである。また、所蔵品番号の番号記号の意味は下記の通りである。なお、欠番の8と10は、加藤資料(8)および奥村資料(10)であったが、福岡市博物館の開館に伴い、平成3年3月31日に移管した。

		作品番号
1 郷土作家 ^(注1)	A 油彩画等 ^(注2)	
2 日本作家	B 日本画等 ^(注3)	
3 海外作家	C 水彩画等 ^(注4)	
4 黒田資料	D 素描	
5 東光院仏教美術資料	E 版画	
6 松永コレクション	F 写真	
7 太田コレクション	G 彫刻等 ^(注5)	
9 石村コレクション	Ha~Hf 工芸 ^(注6)	
11 森山コレクション	I 書跡	
12 三宅コレクション	J 文書	
13 山崎朝雲資料	K その他	
14 一般古美術資料	L 映像	
15 研究資料		
16 西本コレクション		
17 本多コレクション		
18 クスマコレクション		
19 藤森静雄コレクション		
20 森田コレクション		
21 川村コレクション		
22 栗田コレクション		
23 リーコレクション		
24 小西コレクション		
25 門田コレクション		
26 教育研究資料		

例) 1-A-452 → 郷土作家・油彩画・452番

注

- 九州および山口県、沖縄県の出身・在住作家。
- A(油彩画等)の分類には、大きさの形状から油彩画と同等と思われる作品も含む。すなわちアクリル絵具による絵画、複数の技法の併用による作品、レリーフ、コラージュ、布・紙・金属等の特殊な素材による作品も含む。立体の付属物があっても正面から鑑賞される壁面展示の作品、版画技法を用いても1点制作である作品、素描であってもその大きさや表現が油彩画に匹敵するとと思われる作品もまたAに分類した。
- B(日本画等)の分類には、伝統的な素材・技法・形状による中国や朝鮮の絵画も含む。
- C(水彩等)の分類には、パステルなどの多色を基調とする作品も含む。
- G(彫刻等)の分類には、オブジェ、インスタレーションなどの立体作品も含む。
- H(工芸)は素材別に枝番号を付した。陶磁器はHa、漆工はHb、金工はHc、染織はHd、刀剣はHe、その他はHfとした。

美術館日誌

令和3年

- 3月30日(火) 「第52回福岡市美術展」開催(4月4日まで)
- 4月29日(木) 高畑勲展 日本のアニメーションに遺したもの(7月18日まで)
- 5月18日(火) 福岡ミュージアムウィーク2021(5月30日まで)
- 7月 1日(木) インカ・ショニバレCBE 《ウインド・スカルプチャー(SG)II》の設置
ミッションステートメントの公開
- 10月 9日(土) 没後50年 電力王・松永安左衛門の茶(11月21日まで)
- 10月27日(水) 美術資料収集検討会
- 11月 3日(水) ファミリー DAY (11月7日まで)
- 11月24日(水) 美術資料収集審査(近現代美術)
- 12月23日(木) ゴッホ展——響きあう魂 ヘレーネとフィンセント(令和4年2月13日まで)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため特別企画展以外休室の期間

- 5月12日(水)から6月21日(月)まで
- 8月 9日(月)から9月13日(月)まで

令和4年

- 1月 7日(金) 美術資料収集審査(古美術)
- 3月23日(水) 「第53回福岡市美術展」開催(4月3日まで)

福岡市美術館リニューアル事業

1 事業目的

昭和54年11月の開館から約40年が経過する福岡市美術館において、民間活力やノウハウを活用することで、大規模改修及びリニューアル後の維持管理・運営を効果的・効率的に実施するとともに、ソフト・ハードの両面でのさらなる魅力向上を図ることを目的とする(平成31年3月リニューアルオープン)。

2 事業方式

- 事業方式：PFI(RO)方式
- 事業類型：サービス購入型、一部独立採算(レストラン等)

3 契約の相手方等

- 契約の相手方：福岡アートミュージアムパートナーズ株式会社
- 事業期間：平成28年2月23日から令和16年3月31日まで

4 事業範囲

設計・建設業務	実施設計、改修工事、工事監理など
開館準備業務	リニューアル広報、収蔵品等情報システム開発など
維持管理業務	建築物及び設備保守管理、清掃、警備など
運営業務	利用者対応、広報・集客、レストラン・カフェの運営など(P50～52参照)

インカ・ショニバレCBE《ウインド・スカルプチャー(SG)II》の設置について

本作品は、福岡市制施行130周年記念作品として、令和3年(2021)7月1日に、福岡市美術館の公園口にあるアプローチ広場に設置された。作者であるインカ・ショニバレCBEは、英国を代表するアーティストである。ナイジェリア出身の両親のもとに、英国で生まれ育ったショニバレは、作品の主要なモチーフとして、色鮮やかで大胆な柄の綿布を用いることで知られている。しばしば「アフリカンプリント」と呼ばれるこの布は、主に西アフリカの女性の衣装に用いられるが、アフリカで発祥したわけではなく、ヨーロッパ人がインドネシアのバティックを模して工業生産し、アフリカ向けに輸出したものであった。

英国とナイジェリアの両方に文化的ルーツを持つショニバレにとっては、いわゆる「アフリカンプリント」は、自己のアイデンティティを探索するための象徴的な素材であった。一方、1979年の開館以来アジア美術を紹介してきた当館にとっては、アジアの近現代美術の部門が1999年に福岡アジア美術館として独立することが決まる頃から、古美術部門がアジアの伝統的美術の紹介をしてきている。インド更紗やインドネシアのバティックなどのアジアの染織は、その柱の一つであり、いわゆる「アフリカンプリント」はアジア染織と深い関わりを持って制作されてきたため、当館でも以前より収集を行ってきた。

このように、ショニバレは文化の多様性とその交流をテーマに制作しており、彼の作品は、当館にとって近現代美術部門と古美術部門の活動の両方に深くかかわるものである。2019年にリニューアル・オープンした際に、それを記念して作家の日本初の個展「Yinka Shonibare CBE: Flower Power」展を開催し、市民にも広く紹介する機会を得た。

2019年に市政130周年を記念する作品として、ショニバレの代表作である「ウインド・スカルプチャー」シリーズのなかでも、SG(セカンドジェネレーション)のうち一体を、福岡オリジナルのデザインで制作することとなり、同年11月13日にデザインが発表された。

デザインは、ショニバレ自身が福岡市美術館所蔵の日本製の「アフリカンプリント」から選んだものを源泉とし、新たに創造したものである。制作中にコロナ禍に見舞われ、一時制作中断も余儀なくされたが、2021年7月1日に設置完了、一般公開の運びとなった。

作品情報

- 作者：インカ・ショニバレCBE
- 作品名：《ウインド・スカルプチャー(SG)II》
- 寸法：7m×2.5m×2m
- 素材：ガラス強化ポリエステル樹脂、アクリル塗料、鋼

関連展示

2階ロビーにおいて、《ウインド・スカルプチャー(SG)II》の到着から設置までの記録映像を、過去の屋外彫刻作品の写真を交え上映した。2階コレクション展示室では、作品の柄のベースとなった布《植物文様スーパーワックスプリント》を特別展示した。

関連イベント

■記念式典

- 日 時：7月1日(木)9:00～9:30
- 会 場：アプローチ広場
- 出席者：福岡市長、福岡市議会議長、福岡市教育委員会教育長他

■記念講演会

- インカ・ショニバレCBE《ウインド・スカルプチャー(SG)II》が福岡市美術館に来るまで
- 日 時：7月10日(土)14:00～15:30
- 会 場：ミュージアムホール
- 講 師：岩永悦子
- 聴講者数：47人

■記念シンポジウム

- 新しい美術館像～コロナ禍のなかで考える
- 日 時：7月31日(土)14:00～16:00
- 会 場：ミュージアムホール
- 講 師：逢坂恵理子(国立新美術館長)
- 中山喜一郎
- 岩永悦子
- 聴講者数：58人



インカ・ショニバレCBE《ウインド・スカルプチャー(SG)II》2021年 © Yinka Shonibare CBE, 2021. Courtesy of James Cohan Gallery, New York
撮影：山中慎太郎(Qsyum!)



西澤株式会社デザイン、山陽染工株式会社製造
《植物文様スーパーワックスプリント》1993年
福岡市美術館蔵

福岡市美術館ミッションステートメントの決定

令和3年7月1日に「福岡市美術館ミッションステートメント」を決定した。

使命

福岡市美術館は、人が美術を通して交流し、未来を創造する場となります。

福岡市は古来、交流によって発展し、アジアのゲートウェイとして成長を遂げてきました。そうした歴史を背景に、福岡市美術館は1979年に開館し、時代的にも地域的にも幅広いコレクションを、市民とともに築いてきました。このように多彩なコレクションを持つ美術館は、日本においては唯一といってよいでしょう。開館40周年にあたる2019年には、多様性を受け入れながら交流を生み出す、より開かれた美術館となるために、大規模なリニューアルを果たしました。福岡市美術館は、これまでの歩みをふまえ、美術館としての基本的な活動である、美術資料の収集・保存・調査研究・展示公開・教育普及を継続的に行うことを前提に、この使命を掲げ、次のステージへと進みます。

方針

創造性に満ちた体験と新しい視点との出会いを実現します。

多様な人々が交流し、美術と共に快適に過ごせるようにします。

美術館の資源を人々と共有し、未来に伝えます。

活動

紀元前の考古資料から現代美術までの幅広いコレクションを活かし、新たな視野を開く展覧会、教育プログラムを開催します。

表現活動を支えて美術界の活性化に寄与するとともに、創作活動の成果の発表の場を提供します。

幅広い文化活動を行うことで、人々が美術と接する新たな機会をつくります。

すべての人々が、安全にかつ安心して過ごせる環境を整えます。

美術に関する資料・情報・経験を蓄積し、これらを公開・発信し、活用できるようにします。

常に活動をふりかえり、未来に向けて、人々と共に成長し続けます。

【経緯】

国際博物館会議(ICOM)による「職業倫理規定」(平成16年版)では、「使命、目標、方針」を明確に記した声明を作成し、公表し、従うことを定めており、全国美術館会議が平成24年に定めた「博物館の原則 博物館関係者の行動規範」においても、館固有の設置の目的や基本的な理念を目指す姿や独自の姿勢を明文化した使命を明らかにすることが「社会に貢献できる博物館への第一歩となる。」としている。

福岡市美術館は令和元年3月のリニューアル以前からミッションステートメントの策定について協議し、令和3年7月に正式に決定した。決定に至るまでに、監視・案内スタッフ、カフェ・ショップ・清掃スタッフへのアンケートおよびヒアリングを実施し、その結果を踏まえて学芸課・事業課・広報運営グループを交えたミーティングを行った。その後、学芸会議とメールでのやり取りで文言の検討を行った。6月までに改訂を重ね、7月1日に下記の文言と共にホームページ上で公開した。

「福岡市美術館ミッションステートメント」に寄せて

2021年7月1日、インカ・シヨニバレCBEによる《ウィンド・スカulptチャー(SG)Ⅱ》が、アプローチ広場に完成しました。船の帆を思い起こさせる、布が風にはためく形は、交流や多様性を表現しています。

福岡市美術館は、2019年のリニューアルオープン以前から、変化し続ける社会に対応するため、新たな出発にふさわしいミッションステートメントの準備を重ねてきました。

このたび、当館の未来を象徴する《ウィンド・スカulptチャー(SG)Ⅱ》の公開と同日に、「福岡市美術館ミッションステートメント」を公開いたします。

当館は、このミッションステートメントに基づき、多様性を受け入れ人々と交流しながら、この社会の流れにしなやかに力強く対応し、未来を切り開いていきます。

特別企画展

高畑勲展—日本のアニメーションに遺したもの



ポスター-B2

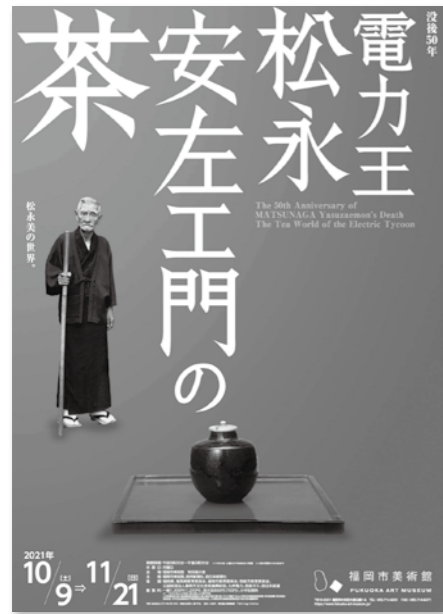


会場風景

会期	令和3年4月29日(木・祝)～7月18日(日)
会場	特別展示室
内容	日本のアニメーションに新たな可能性を切り開き、多くのアニメーション作家に影響を与えた高畑勲(1935-2018)。本展では、「火垂るの墓」、「かぐや姫の物語」などを手掛けた「高畑演出」のこだわりを、制作ノートや絵コンテ、原画、セル画、映像等多数の資料で紹介した。その「こだわり」がどのように日本のアニメーションを進化させ、他の作品に影響を与えていったのかを未公開資料とともに紹介し、豊かな作品世界の秘密に迫った。
出品点数	約1,000点
主催	福岡市美術館、西日本新聞社、FBS福岡放送
企画協力	スタジオジブリ
制作協力	NHKプロモーション
後援	(公財)徳間記念アニメーション文化財団、大濠テラス
観覧料	一般1,500円、高大生1,000円、小中生600円 ※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名および特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者は観覧無料
開催日数	70日間
観覧者数	24,008人
印刷物	【ポスター】2種(B2、B3) 【チラシ】1種(A3二つ折り) 【図録】A4変形、256ページ

展覧会担当：山口洋三

没後50年 電力王・松永安左工門の茶



ポスターB2



会場風景

会期 令和3年10月9日(土)～11月21日(日)
会場 福岡市美術館 特別展示室
内容 松永安左工門(1875-1971)は、戦前戦後の日本の電力界で活躍した実業家であるとともに、「耳庵」と号する茶人でもあった。電力界の第一線を退き、本格的に茶の湯の世界に足を踏み入れたのは還暦が近づく昭和9(1934)年頃。埼玉に構えた柳瀬山荘に離伏するや破竹の勢いで名品を蒐集し、戦中も茶の湯三昧の日々を送りながら、茶人としての名声を上げていった。戦後、電気事業再編成を主導し「電力の鬼」と呼ばれた頃も、小田原に構えた老樗荘で、激務の間隙を縫って自由無碍の茶を愉しんだ。名品蒐集の情熱も晩年まで衰えることはなく、松永記念館という美の殿堂に結実した。
 本展は松永の没後50年を記念して開催する回顧展。香岐の松永安左工門記念館、東京国立博物館、電力中央研究所等からも作品を借用し、松永の功績、それを支えた茶の湯の世界を、様々なエピソードとともに時系列で辿った。

出品点数 117件
主催 福岡市美術館、読売新聞西部本社、西日本新聞社
後援 福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、香岐市教育委員会、九州電力、西日本鉄道、西部ガス
観覧料 一般1,300円(1,200円)、高大生800円(700円)、小中生無料
 ※()内は20名以上の団体、満65歳以上の割引料金。
 ※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名および特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者は観覧無料
開催日数 38日間
観覧者数 6,603人
印刷物 【ポスター】2種(B1、B2)
 【チラシ】A3二つ折り
 【図録】A4・152頁

展覧会担当：後藤恒

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
本展会期に同じ	【肉声公開】松永安左工門、電力再編成と茶道を語る	本展会期に同じ	NHKラジオ第1(1950年4月7日放送)・番組名「朝の訪問 松永安左工門」(15分)をリビート再生(音源提供: NHK/NHKサービスセンター)。	特別展示室内
10月23日(土)	記念講演会「電力王が鬼となるまで 松永安左工門の功績」	14:00～15:30	講師：定村隆久(電力の鬼・松永安左工門記念館 前管理者) 聴講者数：148人	ミュージアムホール
10月30日(土)	つきなみ講座 特別編 「電力王は数寄者となった 松永安左工門の茶」	14:00～15:30	講師：後藤恒 聴講者数：160人	ミュージアムホール
11月18日(木)	ギャラリートーク	13:30～14:10	講師：後藤恒 参加者数：32人	
11月19日(金)	ギャラリートーク	13:30～14:10	講師：後藤恒 参加者数：40人	

ゴッホ展——響きあう魂 ヘレーネとフィンセント



ポスターB2



会場風景

会期 令和3年12月23日(木)～令和4年2月13日(日)
会場 特別展示室
内容 フィンセント・ファン・ゴッホ(1853-1890)の作品は、没後に開催された展覧会や伝記などを通して、そのドラマチックな人生とともに幅広く知られ、人気を獲得した。ヘレーネ・クレラー=ミュラー(1869-1939)はその立役者の一人である。ヘレーネは20世紀初頭にファン・ゴッホの人と作品に魅了され、20年間にわたり作品をコレクションし、公開することで画家の名を世に知らしめた。本展ではヘレーネが開いたクレラー=ミュラー美術館とゴッホ美術館のコレクションから、52点のゴッホ作品を展示した。代表作とともに画家の生涯を振り返りながら、ファン・ゴッホの評価と人気が高まっていく過程にも注目した。

出品点数 68点
主催 福岡市美術館、西日本新聞社、RKB毎日放送
協力 KLMオランダ航空会社、ヤマト運輸、アルコム
後援 オランダ王国大使館、福岡県、福岡市教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団、西日本鉄道、九州旅客鉄道
特別協賛 サイバーエージェント
協賛 大和ハウス工業、西部ガス、Audi正規ディーラー(Audi Sport店)Audi福岡中央、YKK AP、NISSHA
観覧料 一般：2,000円、高大生：1,300円、小中生：800円
 ※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名および特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者は観覧無料
開催日数 43日間
観覧者数 129,293人
印刷物 【ポスター】3種(B2、B3、B3西鉄バスタイヤアップ)
 【チラシ】2種(先行チラシA4、本チラシ:A3二つ折り)
 【図録】B4変形、244ページ

展覧会担当：忠あゆみ

関連イベント

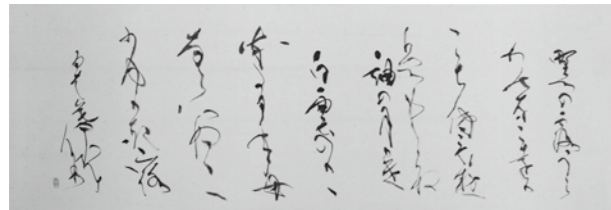
日	イベント名	時間	内容	会場
1月15日(土)	講演会「ゴッホとゴーギャンアルの62日間 —小説・戯曲「リボルバー」創作を通して—作家の考察」	13:30～15:00	講師：原田マハ(作家) 参加者：158人	1階ミュージアムホール
1月30日(日)	講演会「僕の絵は売れるの? —ファン・ゴッホの没後、遺品に何がおこったのか?—」	13:30～15:00	講師：園寺司(大阪大学教授) 参加者：112人	1階ミュージアムホール
1月23日(日)	コンサート 「アクロスミュージアムコンサートin福岡市美術館」	1回目：13:30～14:00 2回目：15:00～15:30	出演：塩見みつる、田中雅弘、田中美江 来場者：1回目：96人、2回目：102人	1階ミュージアムホール
1月19日(水)～2月13日(日)	※タイアップイベント 田中達也氏コロポ作品展示		ミニチュア写真家・田中達也氏によるゴッホ展コロポ作品(小さくても巨匠の大作)を展示。	2階ロビー

公募展

第53回(令和3年度)福岡市美術展



ポスターB2



福岡市美術展大賞「白雲」 深堀 美郷

会 期 令和4年3月23日(水)～4月3日(日)
 会 場 特別展示室 ギャラリー(全室)
 内 容 福岡市美術展運営委員会は、美術の各分野における市民の創造活動を促進し、その成果の発表と鑑賞の機会を提供することにより、市民の美術活動の振興を図ることを目的とした公募展。今回から出品料を改定。学生の出品料を下げることで、出品を促進。全7部門に599人(725点)より応募があり、429人(435点)が入選。このうち特別賞など入賞は71点であった。

出品及び展示状況

区分	日本画	洋画	彫刻	工芸	書	写真	デザイン	計
出品(応募)人数	22	162	3	54	123	193	42	599
出品(応募)点数	24	192	3	70	126	260	50	725
展示点数	入賞入選	15	114	3	42	75	30	435
	招待審査員	4	5	5	4	6	2	31
	計	19	119	8	46	81	32	466

入 賞 者 (1)福岡市美術展大賞1人(書)賞金20万円
 (2)福岡市長賞6人(各部門1人)賞金各10万円
 ※彫刻部門は対象者なし
 (3)福岡市議会議長賞2人(書・デザイン)、福岡市教育委員会賞1人(日本画)、福岡県美術協会賞1人(写真)、福岡市美術連盟賞1人(洋画)、福岡文化連盟賞1人(工芸)、福岡市文化芸術振興財団賞1人(デザイン)、西日本新聞社賞3人(洋画・書・写真)賞金各3万円
 (4)福岡県美術協会奨励賞2人(日本画・洋画)、福岡市美術連盟奨励賞2人(写真・デザイン)
 (5)奨励賞50人(日本画部門1人・洋画部門13人・彫刻部門1人・工芸部門6人・書部門9人・写真部門17人・デザイン部門3人)

主 催 福岡市、福岡市教育委員会、福岡市美術展運営委員会
 後 援 公益社団法人福岡県美術協会、福岡文化連盟、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、西日本新聞社、福岡市美術連盟
 観 覧 料 一般400円、高大生300円、中学生以下無料
 開 催 日 数 11日間
 観 覧 者 数 3,556人
 印 刷 物 【ポスター】B2
 【チラシ】A4
 【開催要項】A3二つ折り
 【図録】A4変形・48頁

関連イベント

日	イベント名	時間	会場
3月11日(金)	入選者発表	—	1階ロビー
3月27日(日)	表彰式	13:00～13:30	ミュージアムホール

※ギャラリートークは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。

コレクション展

近現代美術室A

■富田溪仙展

博多区下川端町出身の日本画家・富田溪仙(1879-1936)。《青嵐》、《沖縄三題》、《神庫》、《御室の桜》と自由な筆遣いによる線描とやわらかで豊饒な色彩を特徴とする野線の代表作であるとともに且つ各時代を象徴する作品を展示したほか、スケッチも展示した。
 展示会担当：正路

令和3年3月30日(火)～5月9日(日)



■コレクションハイライト①:

「近現代美術の流れを展望できる内外のすぐれた作品」から
 令和3年5月18日(火)～令和4年5月29日(日)
 福岡市美術館の収集方針に「近現代美術の流れを展望できる内外のすぐれた作品」という一筋がある。本コーナーでは、この方針に基づき収集した作品のなかでも当館を代表する8点を展示した。このような「名品」展は当館でもよくおこなってきたものだが、ほぼすべてが男性の作家の作品となるため、近現代美術室Cで展開する「コレクションハイライト②」と好対照をなす展示となった。
 展示会担当：正路



■近代日本の美術：明治から昭和初期まで①

近現代のコレクションの中から、吉田博、椿貞雄、長谷川利行、小早川清らの作品を展示。明治以降の美術作品のモチーフや、表現手法の広がりを紹介した。
 展示会担当：忠

令和3年5月18日(火)～8月1日(日)



■和田三造《博多繁昌の図》ができるまで

令和3年8月3日(火)～10月17日(日)

和田三造(1883-1967)の代表作の一つ《博多繁昌の図》は貿易都市として賑わう博多の街を空から眺めるような作品である。本作とともに和田が残した膨大な習作の一部を紹介し、大作の制作過程を探った
 展示会担当：忠



和田三造《博多繁昌の図》1958年

■近代日本の美術：明治から昭和初期まで②/

特集展示：菊畑茂久馬

令和3年10月19日(火)～12月26日(日)

「近代」を受容した日本で「美術」はどのように展開していったかを、油彩、日本画を中心に紹介した。11月28日(日)からは、NHK番組「日洋美術館」にて菊畑茂久馬(1935-2020)の特集番組が生まれ、当館の所蔵作品とともに彼の生涯が紹介されることになり、菊畑の主要作3点を特集展示した。
 展示会担当：山口

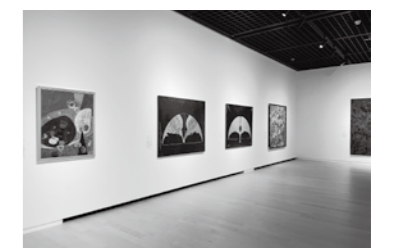


近現代美術室B

■新収藏品展(近現代美術)

令和3年3月30日(火)～5月9日(日)

2020年度に近現代美術の分野で新規収蔵した9作家21点の作品の中から、7作家9点を展示した。
 展示会担当：山口



■織田廣喜と平野遼(西本コレクションより)

令和3年3月30日(火)～5月9日(日)

織田廣喜(福岡県出身、1914-2012)は幻想的な女性像が特徴で、二科展を拠点に活躍した。北九州市で活動した平野遼(大分県出身、1927-1992)は、自己の内面を反映させた人物や風景描写が特徴である。西本コレクションより、2人の主な作品を展示した。
 展覧会担当：山口



■野見山暁治・豊福知徳・菊畑茂久馬一地方と海外のはざま

令和3年5月18日(火)～8月1日(日)

自らの活動の根拠を何に、あるいは何処に置けば、美術家にとって重要な課題である。海外、東京、福岡にそれぞれ拠点を置いた福岡ゆかりの3人の美術家の作品を通して、上記の課題がいかに彼らの内部で考えられたかを検証した。
 展覧会担当：山口



■ミニマルなかたち

令和3年8月3日(火)～10月17日(日)

1950年代後半、要素を極限まで排することで本質的なものを表現しようとする「ミニマリズム」の動きが生まれた。ミニマル・アートは円、矩形、三角といった幾何学的な形そのものを提示したり、物体または物質そのものに注目したり、同一の形態を反復し並列させて空間に展開することを特徴とするが、思考を重視するコンセプチュアル・アートや、場の特性を生かし空間に展開するインスタレーションにも派生・展開していった。本展では、当館の所蔵品および西日本シティ銀行所蔵の寄託作品のなかからエルズワース・ケリー、アンソニー・カロ、ソル・ルウィット、桑山忠明、フランク・ステラ、江上計太の作品を展示した。
 展覧会担当：正路



■自画像のようなもの

令和3年10月19日(火)～12月26日(日)

明治から現代に至るまで、美術家たちはさまざまな動機で自分自身の姿を作品の中に表してきた。コレクションを通じ、近代以降の美術と「表現する私」との切っても切れない関係をたどった。
 展覧会担当：忠



近現代美術室C

■コレクションハイライト②:

コレクションと展示のジェンダーバランスを問い直す

令和3年5月18日(火)～令和4年5月29日(日)

当館のリニューアルオープンで披露され、コレクションに加わったインカ・ジョニバレCBEの《桜を放つ女性》は、女性のエンパワメントをテーマとしている。その背景には、現在も世界そして日本に、雇用機会をはじめとする男女の不平等が根強く存在している現実があるが、美術館の収集・展示活動も無関係とは言えない。なぜなら、当館の近現代美術コレクション12,247点(2020年5月現在)のうち、女性作家による作品は324点、作家数でいえば62人(男性の作家数は907人)であり、本展示室での過去の展示においても女性の作家の作品が占める割合は全体の数パーセントから多くても15パーセント前後であったからだ。この数字に明確に現われた非対称は、美術館の収集・展示活動が、基本的には既存の美術史に基づき行なわれてきたことと、その底本としてきた美術史というものの自体が、教育を受け、美術家として活動が続けることが困難な状況に女性を置き続けてきた社会の価値観のもと編まれてきたことに起因している。本展では、美術館のこれまでの収集・展示活動や、戦後美術における女性作家の奮闘、女性作家の語られ方、そして美術作品と社会との関係についてなど、それぞれの章において美術史および美術館における女性作家にかかわる問題を整理しながら、当館のコレクションを紹介した。女性作家の作品を軸に展示内容を構成したこともあり、本展では出品作の7割が女性作家の作品となった。
 展覧会担当：正路



東光院仏教美術室

■東光院のみほとけ

通期

葉王密寺東光院(福岡市博多区吉塚)から寄贈された、重要文化財を含む仏像を展示。本尊・薬師如来立像、二組の十二神将立像など、重要文化財25軀をはじめとする木彫仏を、4カ月に一度展示替えをしながら公開した。
 展覧会担当：後藤、宮田



古美術企画展示室

■黒田家の名宝

令和3年4月13日(火)～5月30日(日)

江戸時代に福岡藩を治めていた黒田家に伝来した宝物から19点を精選して展示。「ご先祖様は強かった」「エリートのため」「屋敷を飾る」の3章構成で、武具・装束や調度品、絵画などの大名道具を紹介した。
 展覧会担当：宮田



《法螺貝(北条白貝)》 桃山時代

■新収蔵品展(古美術)

令和3年4月13日(火)～5月30日(日)

令和2年度にご寄贈いただいた作品および購入した作品15点を展示した。
 展覧会担当：宮田



■田中丸コレクション 古唐津の味わい

令和3年6月1日(火)～7月18日(日)

田中丸コレクションの中から慶長(1596-1615)から元和年間(1615-1624)につくられた唐津焼40件を展示。さらに福岡市美術館所蔵品により同時代の他窯の茶陶9件を参考出品した。
 展覧会担当：久保山炎氏(一般財団法人田中丸コレクション学芸員)、後藤



《絵唐津木賊文茶碗》 田中丸コレクション

■夏休みこども美術館2021

「これなあに?謎がいっぱい、古い美術」

令和3年7月20日(火)～9月12日(日)

謎やわからないことがある当館所蔵の古美術作品を「一目ではわからないもの」、「調べてみました」、「だれか教えて」の3つの章に分けて子ども向けに展示した。展示会場内では、当館所蔵の「コブウシ土偶」をモチーフにしたマスコット「こぶうしくん」へ宛てたお手紙を募集した。
 展覧会担当：上野

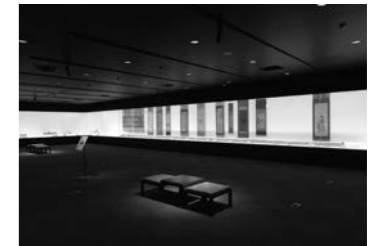


《女性土偶》パキスタン 紀元前3000-前2500年頃 森田コレクション

■遊びと笑いの日本美術

令和3年9月14日(火)～11月14日(日)

遊び心を感じさせるような絵画、陶磁29点を展示。「笑う神仏」「生き物へのまなざし」「凝縮された遊びと笑い」「あふれる遊び心」「仙厓さんネタ祭り」の5章構成で作品を紹介した。《異代同戯図巻》が会期中SNSで話題になるなど、普段美術館を訪れない若年層からの反響も大きかった。
 展覧会担当：宮田



■かがやく螺鈿、はなやく蒔絵

令和3年11月16日(火)～令和4年1月16日(日)

螺鈿は、ヤコウ貝などの貝殻を文様に切って貼りつけ、または埋め込んで装飾する技法。蒔絵は、器物に漆の下地を施し、金銀の粉などを蒔きつけて装飾する技法。漆芸の双璧ともいえる蒔絵と螺鈿の名品21件を当館所蔵品により展示紹介した。

展覧会担当：後藤



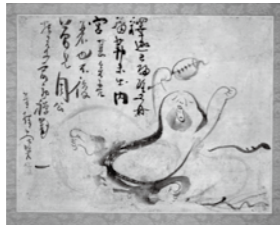
《花鳥文螺鈿描金盒子》

■これであなたも仙厓通

令和3年11月16日(火)～令和4年1月16日(日)

親しみやすい書画を通して、庶民へ禅の教えを分かりやすく説いた仙厓義梵の作品21点を展示。「いつ描いたのか?」「誰の／何のために描いたのか?」という構成で仙厓作品を紹介することで、来館者が作品をさらに深く楽しむための視点を提供した。

展覧会担当：宮田



仙厓義梵筆《あくび布袋図》 江戸時代

松永記念館室

■春の名品展

令和3年4月13日(火)～6月13日(日)

松永記念館室に常時陳列されている野々村仁清《色絵吉野山図茶壺》(重要文化財)に合わせて、春から初夏にふさわしい名品を選んで17件を展観。

展覧会担当：後藤



尾形乾山《茄子図》

■ふくろもの一壺と瓶一

令和3年6月15日(火)～8月29日(日)

皿などを「平物」というのに対し、胴が膨らんだ器を「袋物」と呼ぶ。本展では袋物の造形のバリエーションを紹介するもので、壺は水指、瓶は花入や徳利など茶の湯ならではの器も取り挙げ、19件を展示した。

展覧会担当：後藤



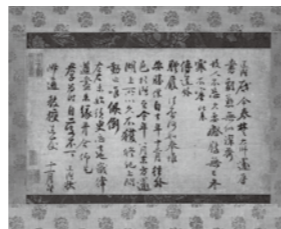
《猿投灰釉壺》(重文)

■秋の名品展

令和3年8月31日(火)～11月14日(日)

松永コレクションの茶道具を中心に、秋の季節にふさわしい書画、工芸作品を選んで19件を展示した。

展覧会担当：後藤



《妙総大師道潜墨蹟》(重文)

■古色蒼然 時を重ねた美の世界

令和3年11月16日(火)～令和4年1月16日(日)

土中に埋まっていたことで釉薬の色が変化した陶器、深みのある緑青のサビに覆われた青銅器など、悠久の時を重ねた工芸品ならではの古色の味わいに注目し、松永コレクションを中心に18件を展示した。

展覧会担当：後藤



《白磁藍彩錦文鳳首水注》

■捧げもの世界

令和4年1月19日(水)～4月10日(日)

松永コレクションの中から、神仏への捧げものとして作られたもの、あるいは、日用品だったものが神仏へ捧げられることで今日まで伝えられたものを展示。太刀や鏡といった神への奉納品、仏具、寺院へ寄附された着物など14点を紹介した。

展覧会担当：宮田



企画展

田部光子展「希望を捨てるわけにはいかない」



チラシ表面



会場風景

会
場
内

期 令和4年1月5日(水)～3月21日(月・祝)
場 近現代美術室A・B
容 田部光子は1933年日本統治下の台湾に生まれ、1946年福岡に引き揚げ、絵画を独学し、福岡発の前衛美術グループ〈九州派〉の主要メンバーとして活動した後も、福岡の美術界だけでなく、女性たちをも牽引してきた美術家である。〈九州派〉の一員であることや、同時代の社会の動きに敏感に反応し制作した〈プラカード〉やフェミニズム・アートとして近年注目を集める〈人工胎盤〉などは全国的にも知られていたが、その活動の全貌はこれまで十分に紹介・検証されていなかった。

田部光子の座右の銘をタイトルに掲げた本展覧会では、〈九州派〉時代の作品だけでなくそれ以降の田部の活動にも目を向け、豊富な作品と資料によって、ベトナム戦争に対する田部の反応や1969年頃の記録映画家としての活動、反芸術パフォーマンスとの協働、1974年に田部が主宰した女性画家のグループ〈九州女流画家展〉など、これまでその詳細が明かされることなかった1970～80年代の活動にも光を当て、最近作までの活動を紹介した。先行研究者たちがその必要を説いてきた「田部光子を〈九州派〉から解放する」試みでもあったともいえる。

展覧会では章立てを設けず、制作年順に作品・資料を提示した。〈九州派〉時代の作品だけが高く評価されてきたこれまでの語りに対して、その活動が現在まで地続きであり、クライマックスを設けるのではなく、鑑賞者に委ねたいと考えたからである。実際、初発表時以降、長く公けになっていなかった作品群は、同時代の美術動向、社会的出来事に対する田部の姿勢、造形面での高い技術、常に新たな試みを取り入れる実験的精神を示していた。田部は作品制作と発表を休むことなく継続し、美術家としてさまざまな形で世の中に働きかけ、表現を志す女性たちを鼓舞し、家父長的な美術界を変革しようと奮闘してきた。本展で示された田部光子のエネルギー溢る姿は、老若男女問わず、鑑賞者にアクチュアルなものとして受けとめられた。

出品点数 64点
主催 福岡市美術館
助成 芸術文化振興基金
観覧料 コレクション展示観覧料
開催日数 66日
観覧者数 41,412人(会期中のコレクション展観覧者数)
印刷物 【ポスター】B2 【チラシ】A4 【図録】B5・160頁

展覧会担当：正路佐知子

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
2月5日(土)	記念講演会① 「ジェンダーの視点からみる近代の女性アーティストたち」	14:00～15:30	講師：吉良智子(日本女子大学学術研究員) 聴講者数：36人	ミュージアムホール
2月12日(土)	記念講演会②「戦後美術と女性作家」	14:00～15:30	講師：中嶋泉(大阪大学大学院准教授) 聴講者数：55人	ミュージアムホール
2月26日(土)	つきなみ講座特別編「美術家・田部光子の挑戦」	14:00～15:30	講師：正路佐知子 聴講者数：72人	ミュージアムホール

シンガポール・スタイル 1850-1950 プラナカン・ファッション100年の旅 リー・コレクションとクスマ・コレクションより



ポスター



会場風景

会期 令和4年1月19日(水)～3月27日(日)
会場 コレクション展示室 古美術企画展示室
内容 東南アジアの国々には、国境を超えたネットワークを結び、独自の文化を育んできたプラナカンと呼ばれる人々がいる。プラナカンとは、東南アジアにわたり、現地の女性と結婚して定住した主に中国からの移民の子孫を指す。マレーシアのマラッカやベナン、インドネシアのスラバヤやメダンと並んで、シンガポールはその主要な拠点のひとつである。

プラナカンの女性たちは、繊細な文様で彩られるバティックをまとい、バジュバンジャンと呼ばれるクラシックなスタイルの長い上着を身に付けた。この伝統的なスタイルは、19世紀から20世紀にかけて、インドネシア、マレーシアそしてヨーロッパの影響を受け、劇的な変化をとげる。同時に、バティックにも飛躍的な変化がもたらされた。本展ではバジュバンジャンとバティックを中心に、約100年にわたるプラナカン女性のファッションの変遷をたどった。

アジア染織のコレクターとして知られたシンガポールの故リー・キップリー御夫妻から寄贈された東南アジアの衣装のコレクションと、インドネシア染織のコレクター、故エイコ・アドナン・クスマ氏から寄贈されたバティックのコレクションの中から、バジュとバティックをコーディネートして展示。コーディネートにはリー夫妻の御息である、染織およびプラナカン文化研究家ピーター・リー氏の協力を得、日本の着物にもつながる優雅で大胆なプラナカン・ファッションを紹介した。

点数 95件
観覧料 コレクション展示観覧料
開催日数 59日間
観覧者数 31,682人(会期中のコレクション展観覧者数)
印刷物 【ポスター】B2
【チラシ】A4
【図録】B5・152頁

展覧会担当：岩永悦子

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
1月22日(土)	つきなみ講座 特別編「シンガポール・スタイルーコーデの極意」	14:00～15:30	講師：岩永悦子 聴講者数：44人	1階レクチャールーム

展覧会関連記事

令和3年4月1日～令和4年3月31日の展覧会・美術館事業に関連する主要な新聞・雑誌・WEB媒体記事をまとめた。

※カッコ内は執筆者名。表記・肩書は元記事のままとした。

特別企画展

高畑勲展 日本のアニメーションに遺したもの		
西日本新聞(朝刊)	R3.4.29	「高畑勲展」きょう開幕／(納富猛)
朝日新聞(朝刊)	R3.5.12	view／高畑勲監督の「思考」膨大なメモで迫る／福岡市美術館で特別展(今井邦彦)
読売新聞(朝刊)	R3.6.3	「高畑勲さん 足跡たどる展示 福岡」
西日本新聞(朝刊)	R3.6.13	「高畑勲 創造の足跡 上」／太陽の王子 ホルスの大冒険 1968年／半世紀超えあせぬ輝き
西日本新聞(朝刊)	R3.6.15	「高畑勲 創造の足跡 中」／アルプスの少女ハイジ 1974年／ロケハンで「日常」拾う／(山口洋三)
西日本新聞(朝刊)	R3.6.16	「高畑勲 創造の足跡 下」／かぐや姫の物語 2013年／スタートでありゴール／(山口洋三)
西日本新聞(朝刊)	R3.6.16	「高畑勲展」来月18日まで 福岡市美術館／心揺さぶる名作の数々／火垂るの墓／(納富猛)

没後50年 電力王・松永安左工門の茶

wa vol.87 2021 p.15 (福岡市文化芸術振興財団発行)	R3.9.15	おしゃべりな学芸員「電力王と謳われ、鬼と恐れられ、大茶人と称えられた男」／福岡市美術館学芸員 (後藤恒)
muto	R3.9.30	電力王にして茶人。松永安左工門の偉大な足跡
陶説 2021年10月号 p.114 (日本陶磁協会発行)	R3.10.1	没後50年 電力王・松永安左工門の茶
西日本新聞(朝刊)	R3.10.9	「電力王の茶展」きょうから／(日高三朗)
読売新聞(朝刊)	R3.10.10	松永安左工門の茶道具／福岡市美術館 国重文など120件
毎日新聞(夕刊)	R3.10.11	電力王 松永安左工門の茶
天神経済新聞 (みんなの経済新聞WEB)	R3.10.18	福岡市美術館で「没後50年 電力王・松永安左工門の茶」茶道について語る音声も
夕刊三重	R3.10.27	氏郷の茶杓が目玉／福岡市美術館企画展で展示／電力王・松永安左工門の愛蔵品
読売新聞(朝刊)	R3.11.3	「没後50年 電力王・松永安左工門の茶」展[上]／茶人 松永の始まり告げる／(後藤恒)
西日本新聞(朝刊) ※アルトネにも掲載(R3.11.7)	R3.11.4	没後50年 松永安左工門／戦後の経済成長薄いた「電力の鬼」の先見性／信念を支えた茶の心／(諏訪部真)
読売新聞(朝刊)	R3.11.4	「没後50年 電力王・松永安左工門の茶」展[中]／愛蔵 剣豪・宮本武蔵の傑作／(後藤恒)
読売新聞(朝刊)	R3.11.7	「没後50年 電力王・松永安左工門の茶」展[下]／はかない秋の情趣こもる／(後藤恒)
電気新聞	R3.11.12	名品の重み にじむ人柄／福岡市美術館、茶人・耳庵の特別展／(長岡誠)
毎日新聞(西部朝刊)	R3.11.13	没後50年 電力王 松永安左工門の茶展 優品ぞろい、数寄者の美／(渡辺亮一)
西日本新聞(朝刊)	R4.2.25	博多モノ語り 100／福岡市美術館蔵「松永コレクション」実業家、松永安左工門の名品／(企画・制作／西日本新聞社メディアビジネス局)

ゴッホ展——響きあう魂 ヘレーネとフィンセント

西日本新聞(朝刊)	R3.12.10	もって九州／本社のイベント／ゴッホ展「糸杉」代表作も／23日開幕、福岡市美術館／収集家ヘレーネの情熱
西日本新聞(夕刊)	R3.12.15	本社の事業／ゴッホ展 苦悩の画家人生をたどる52点
西日本新聞(朝刊)	R3.12.18	ゴッホ展 ヘレーネとフィンセント 上／激情の画家 後世に伝え／夜のプロヴァンスの田舎道 16年ぶり来日／種まく人 太陽と麦畑に魅せられて／(東京新聞・谷悠己、忠あゆみ)
西日本新聞(朝刊)	R3.12.23	きょうから福岡市美術館でゴッホ展
西日本新聞(朝刊)	R3.12.24	風向計／黄色い家の雄牛ゴッホ／(写真デザイン部編集委員 大串誠寿)
西日本新聞(朝刊)	R3.12.25	ゴッホ展 ヘレーネとフィンセント 中／人間映し出す鏡のよう／理想の森に夢の美術館を／福岡展の注目作品から 「レストランの内部」／(東京新聞・谷悠己)
西日本新聞(朝刊)	R3.12.29	春秋／ゴッホ展が福岡市美術館で開催
朝日新聞(朝刊)	R4.1.12	カルチャーWEST／ゴッホの宗教的葛藤に共感／福岡市美術館 ヘレーネ・クレラー・ミュラー収集作品展／(上林格)
西日本新聞(朝刊)	R4.1.14	ゴッホ展①／記事が伝えた「強烈な灼熱」／(忠あゆみ)
西日本新聞(朝刊)	R4.1.15	ゴッホ展 ヘレーネとフィンセント 下／ヒマワリから糸杉へ なぜ／福岡展の注目作品から 「黄色い家(通り)」／(佐々木直樹)
西日本新聞(朝刊)	R4.1.18	こどもタイムズ／福岡市美術館で展覧会取材した／きょうのテーマ ゴッホが来た見に行った／情熱的な女性収集家に注目
西日本新聞(朝刊)	R4.1.19	風向計／「星月夜」ゴッホの鈍心／(写真デザイン部編集委員 大串誠寿)
西日本新聞(朝刊)	R4.1.21	ゴッホ展②／ブームの火付け役は森鴎外／(忠あゆみ)

西日本新聞(朝刊)	R4.1.27	もっと九州／これぞゴッホ名画の数々／名声築いた収集家のあゆみも／福岡市美術館で開催中／大金投じた収集の20年
西日本新聞(朝刊)	R4.1.28	文化／ゴッホの絵は意外と青かった／フィンセント・ファン・ゴッホ《青い花瓶の花》／(森村泰昌)
西日本新聞(朝刊)	R4.1.28	ゴッホ展③／感化された日本の画家たち／(忠あゆみ)
西日本新聞(朝刊)	R4.2.4	ゴッホ展④／大衆に広めたある精神科医／(忠あゆみ)
西日本新聞(朝刊)	R4.2.5	ゴッホ展の魅力語る／作家の原田マハさんが講演／福岡市美術館 展示作品の紹介交え／(川口安子)
西日本新聞(朝刊)	R4.2.8	風向計／種をまき続けるゴッホ／(写真デザイン部編集委員 大串誠寿)

企画展

田部光子展「希望を捨てるわけにはいかない」		
日経トレンディ2022年1月号臨時増刊No.487 日経おとなのOFF 2022年絶対見逃せない美術展 日経BP pp.81-82	R3.12.7	今こそ注目 前衛の女性画家たち(中城邦子、行武知子)
Tokyo Art Beat	R3.1.12	フォトレポート ジェンダー不平等に権力批判。50年以上戦い続ける破格の作家、田部光子とは? 個展「希望を捨てるわけにはいかない」レポート(福岡夏子)https://www.tokyoartbeat.com/articles/-/fukuoka-art-museum-tabemitsuko
美術の窓 2月号 pp.119-120	R4.1.19	田部光子とはいかなる美術家か(正路佐知子)
読売新聞(朝刊)	R4.1.22	福岡市美術館 田部光子さん回顧展／女性の視点ポップに表現／(白石知子)
毎日新聞(朝刊)	R4.1.22	田部光子展「希望を捨てるわけにはいかない」／再評価進む 先駆者の軌跡／福岡市美術館／(上村里花)
西日本新聞(朝刊)	R4.2.26	文化／「正史」に埋もれた女性再考／田部光子展と「はじまりから、いま。」展／九州派の画家、空白期に光／(編集委員 窪田直子)
日本経済新聞(朝刊)	R4.2.26	「正史」に埋もれた女性再考 田部光子展と「はじまりから、いま。」展／(窪田直子)
artscape	R4.3.1	キュレーターズノート 田部光子をひとりの美術家として語り直すために——田部光子展「希望を捨てるわけにはいかない」(正路佐知子)https://artscape.jp/report/curator/10174601_1634.html
すばる pp.368-369	R4.3.4	プレイヤード 美術 誰がどうやってアーティストのピークを決めるのか 田部光子展「希望を捨てるわけにはいかない」(保坂健二郎)
毎日新聞(夕刊)	R4.3.9	評 展覧会 田部光子展「希望を捨てるわけにはいかない」／あくなき探求心／(上村里花)

シンガポール・スタイル：1850-1950 プラナカン・ファッション100年の旅 リー・コレクションとクスマ・コレクションより		
日本経済新聞(朝刊)	R4.1.25	祝祭の布 十選(6)／ウィ・スーチュン「蝶花束文様腰衣」／(岩永悦子)
毎日新聞(朝刊)	R4.3.21	地域面* 「プラナカン」100年の装い／東南アジアで開花したファッション／「シンガポール・スタイル1850-1950」展／福岡市美術館で開催中／(田後真里)

ソシエテ・イルフは前進する 福岡の前衛写真と絵画		
西日本新聞(朝刊)	R3.12.22	回顧2021／美術／九州美術の再評価進む／(川口史帆)

KYNE《Untitled》2020年		
毎日新聞(朝刊)	R4.2.8	外から窓越しに見える巨大壁画／福岡市美術館／(逢田正志)

公募展

第53回福岡市美術展		
西日本新聞(朝刊)	R4.3.12	大賞 書の深堀美郷さん／23日から福岡市美術展 入賞・入選者 (上)
西日本新聞(朝刊)	R4.3.13	福岡市美術展 入賞・入選者 (下)

コレクション展

コレクション展ハイライト		
artscape	R3.7.15	「所蔵品展からの問いかけーコレクションと展示のジェンダーバランスを問い直す」(正路佐知子)https://artscape.jp/report/curator/10169962_1634.html
西日本新聞(朝刊)	R3.12.1	「アート×ジェンダー2021 ①」／学芸員の挑戦／男女、人種…不均衡は正へ「希望捨てない」にじむ覚悟／(川口史帆)
日本経済新聞(朝刊)	R4.5.23	「ジェンダーフリーー遠い美術界／女性作家の評価道半ば」(原木まゆみ)

コレクション全般		
朝日新聞(夕刊)	R3.7.1	「風」の屋外彫刻 お披露目／福岡市美術館 新しいシンボル／(上林格)
西日本新聞(朝刊)	R3.7.2	福岡市美術館に7メートルのオブジェ／市制130年、開館40年記念／(大淵龍生)
読売新聞(朝刊)	R3.7.10	新たなシンボル 福岡市美術館
朝日新聞(朝刊)	R3.7.14	カルチャーWEST／「評」福岡市美術館インカシヨニバレCBE「ウインド・スカルプチャー(SG)II」／アフリカンプリントの意味／(上林格)
読売新聞(朝刊)	R3.9.11	解藩知見／第3部 令和の殿・家宝が結ぶ古里との縁／旧福岡藩黒田家 黒田長高さん 69／(白石知子)
日本経済新聞(朝刊)	R3.11.28	美の枠／世界を駆けた画家夫妻-吉田博と吉田ふじを(上)／繊細な描写、米国人を魅了／米欧諸国を写生 2人展も評判に／7人の家族支え 画技厳しく追及／(宮川匡司)
朝日新聞(朝刊)	R3.11.30	私のイチオシコレクション／福岡市美術館／月が見えてくる?仙厓マジック／(宮田太樹)
日本経済新聞(朝刊)	R4.1.31	祝祭の布 十選(10)／インカ・シヨニバレCBE「ウインド・スカルプチャー(SG)II」／(岩永悦子)

教育普及事業

西日本新聞(朝刊)	R3.7.16	福岡天神博多お出かけ百科／夏休みこども美術館2021／これなあに?謎がいっぱい、古い美術
毎日新聞(朝刊)	R3.7.25	古い美術品 謎がいっぱい／福岡市美術館「夏休みこども美術館」
長崎新聞(朝刊)	R3.9.12	どこでもミュージアム／福岡市美術館／展示替え 定点カメラで／(森田尚子)
西日本新聞(朝刊)	R3.11.7	工作やクイズに挑戦 親子でアート楽しむ／きょうまで福岡市美術館／(平山成美)

その他美術館事業

西日本新聞(朝刊)	R3.7.7	福岡市美シンポジウム「新しい美術館像」
毎日新聞(朝刊)	R3.7.14	探／展示の撮影解禁、現状は／OK急増 楽しみ方尊重／権利保護で禁止も／(今井邦彦)
読売新聞(朝刊)	R3.12.25	回顧2021 下／美術 展示や鑑賞ネットで／(白石知子)

どこでも美術館

当館のアウトリーチ活動として平成28年度より開始した教育普及事業。館外で作品鑑賞や美術体験ができる、当館オリジナルの持ち出し式の教材(ボックス)を使用したプログラムを実施。本教材は、学校等への貸出も行っている。

1 どこでも美術館ティーチャーズ・プラス

学校での美術鑑賞授業などに活用してもらうため、ボックスの貸出を行っている。

対象：主に市内の小・中・高校

貸出ボックス：

絵画①マルク・シャガール《空飛ぶアトラージュ》複製

②長谷川派《韃靼人狩猟図屏風》複製

③尾形乾山《花籠図》複製

やきもの

染め・織りもの

素材と技法①油彩画②日本画③彫刻素材④螺鈿⑤版画



染め・織りものボックス

貸出校 市内小中学校 7件 計407人

	貸出校	学年	貸出ボックス	利用日	利用人数(人)
令和3年	福岡教育大学福岡附属小学校	4年	絵画①	4月20日	71
	玄洋小学校(特別支援学級)	1~6年	染め・織りもの	6月7日	25
	名島小学校(特別支援学級)	1~6年	絵画①	6月22日	33
	平尾中学校(美術部)	1~3年	素材と技法①	8月4日	33
	平尾小学校	4年	やきもの、染め・織りもの、素材と技法④	8月26日	185
	平尾中学校(ステップルーム)	1~3年	素材と技法①	10月18日	10
令和4年	東光中学校	2年	やきもの	3月3日	50

2 どこでも美術館アウトリーチ

当館の学芸員が館外へ出向き、ボックスを活用した美術鑑賞・体験プログラムを行っている。

対象：市内の院内学級、特別支援学校、離島および公共交通機関で美術館に来にくい地域の小中学校、公民館等の高齢者向け活動など。

プログラム内容：

絵画・彫刻①マルク・シャガール《空飛ぶアトラージュ》

②長谷川派《韃靼人狩猟図屏風》

③藤浩志《ヤセ犬》

やきもの

染め・織りもの

素材と技法①油彩画②日本画③彫刻④螺鈿⑤版画

ワークショップ



公民館での活動の様子(絵画・彫刻③)

実施校・施設 市内小学校2件、公民館13件 全15件 計339人

	実施日	実施校・施設	学年	参加人数(人)	利用ボックス
令和3年	6月25日	田島公民館		10	絵画・彫刻①
	6月29日	下山門公民館		14	素材と技法②
	6月30日	姪北公民館		10	絵画・彫刻③
	7月2日	堤丘公民館		23	染め・織りもの
	7月13日、14日	博多高等学園(特別支援学校)	1~3年	120	絵画・彫刻③
	7月30日	舞松原公民館		30	素材と技法①
	9月16日	別府公民館		20	絵画・彫刻①
	9月30日	九州大学病院院内学級	小学部	10	絵画・彫刻②
	10月15日	箱崎公民館		9	素材と技法④
	10月22日	和白図書館		9	絵画・彫刻②
	12月22日	西長住公民館		20	絵画・彫刻②
	令和4年	1月11日	百道浜ふれあいサロン		16
1月14日		柏原公民館		22	絵画・彫刻②
1月26日		片江公民館		18	絵画・彫刻②
3月17日		舞鶴公民館		8	絵画・彫刻②

企画担当：中原千代子

スクールツアー

主に市内の小中学校を対象に、児童・生徒が美術に興味を持って美術作品を楽しく鑑賞し、美術館を身近な施設として体験してもらうためのプログラム。当館のギャラリーガイドボランティアが、児童・生徒に向けて、一緒に会話をしながら当館のコレクションを紹介するギャラリーツアーを実施している。

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和3年4月から11月は対面によるボランティアのツアーは中止し、展示室でのワークシートや学芸員のレクチャーを実施した。ただし令和3年12月以降は、学校団体および一般団体からの希望があった場合のみ、対面でのツアーを再開した。

市内小・中学校に対するスクールツアー

※令和3年度は草ヶ江小学校のみギャラリーガイドボランティアによる対面のツアーを実施した。

実施数 団体数13件 児童・生徒859人 引率78人 計937人

来館日程	来館校	学年	児童・生徒(人)	引率(人)	合計(人)	
令和3年	7月28日(水)	東京大志学園 福岡校	1～3	2	2	4
	8月5日(木)	平尾中学校 美術部	1～3	33	1	34
	9月24日(金)	南当仁小学校	3	120	6	126
	10月29日(金)	上智福岡中学校	2	193	8	201
	11月17日(水)	南当仁小学校	2	68	6	74
	11月18日(木)	南当仁小学校	2	65	3	68
	11月19日(金)	南当仁小学校	5	116	5	121
	12月3日(金)	今津特別支援学校	3	7	9	16
	12月3日(金)	南当仁小学校(特別支援学級)	4, 6	3	2	5
	12月7日(火)	草ヶ江小学校	2	65	2	67
	12月8日(水)	草ヶ江小学校	2	100	5	105
	12月9日(木)	今津特別支援学校	1～2	17	23	40
令和4年	2月10日(木)	福岡女学院中学校	3	70	6	76

その他の学校団体(小学校・中学校・高校)

※令和3年4月～11月は対面のツアーは中止し、ワークシートや学芸員のレクチャーを実施。

実施数 団体数1件 児童・生徒26人 引率2人 計28人

来館日程	来館校	学年	児童・生徒(人)	引率(人)	合計(人)	
令和3年	7月29日(木)	福岡県立嘉穂高等学校		26	2	28

その他の団体(大学等)

※令和3年度は対面のツアーは中止し、ワークシートや学芸員のレクチャーを実施。

実施数 団体数7件 児童・生徒166人 引率10人 計176人

来館日程	団体名	児童・生徒(人)	一般(人)	引率(人)	合計(人)	
令和3年	4月21日(水)	九州大学芸術工学部		40	2	42
	7月3日(土)	筑紫女学園大学		20	3	23
	7月3日(土)	西南学院大学 博物館教育論		7	1	8
	7月7日(水)	西南学院大学 人間科学部児童教育学科		29	1	30
	7月18日(日)	福岡教育大学		17	1	18
	12月19日(日)	福岡教育大学		13	1	14
	12月19日(日)	九州大学芸術工学部		40	1	41

総計 団体数21件 児童・生徒1,051人 引率90人 計1,141人

つきなみ講座

美術館の仕事と美術のさまざまな側面を知ってもらうため、月1回、当館職員が自身の研究・業務内容、特定のテーマ等について話をする「つきなみ講座」。本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として、12月まではレクチャールームの定員を54人から30人に変更して開催した。また中止、日程変更した回もある。なお、特別展や企画展の関連事業としてミュージアムホールにて開催する回もあったため、本年度は開催場所についても記載する。

第1回 バリアフリーギャラリーツアーをやってみて

講師：鬼本 佳代子 開催日：令和3年4月17日(土)15:00～16:00
場所：レクチャールーム 聴講者数：12人

第2回 読んでみたくなる展示作品の解説文「キャプション」のいろいろ

講師：崎田 明香 開催日：令和3年6月19日(土)15:00～16:00
場所：レクチャールーム ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

第3回 美術館はサブカルチャーとどう向き合うか

講師：山口 洋三 開催日：令和3年7月17日(土)15:00～16:00
場所：レクチャールーム 聴講者数：33人

第4回 和田三造の制作プロセス

講師：忠 あゆみ 開催日：令和3年10月2日(土)15:00～16:00
場所：レクチャールーム 聴講者数：18人 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため9月18日(土)からこの日に変更

第5回 「遊びと笑いの日本美術」

講師：宮田 太樹 開催日：令和3年10月16日(土)15:00～16:00
場所：レクチャールーム 聴講者数：22人 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため8月21日(土)からこの日に変更

第6回 電力王は数寄者となった 松永安左エ門の茶

講師：後藤 恒 開催日：令和3年10月30日(土)14:00～15:30
場所：ミュージアムホール 聴講者数：160人

第7回 どこでも美術館がやってきた2 ～他施設とのコラボについて

講師：中原 千代子 開催日：令和3年11月20日(土)15:00～16:00
場所：レクチャールーム 聴講者数：15人

第8回 仙厓さんのすべて(2)

講師：中山 喜一郎 開催日：令和3年12月18日(土)15:00～16:00
場所：ミュージアムホール 聴講者数：95人 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため5月15日(土)からこの日に変更

第9回 つきなみ講座特別編「シンガポール・スタイル コーデの極意」

講師：岩永 悦子 開催日：令和4年1月22日(土)14:00～15:30
場所：ミュージアムホール 聴講者数：44人

第10回 つきなみ講座特別編「美術家・田部光子の挑戦」

講師：正路 佐知子 開催日：令和4年2月26日(土)14:00～15:30
場所：ミュージアムホール 聴講者数：72人

第11回 こども向け鑑賞プログラムの企画と実践 コロナ前、コロナ後

講師：上野 真歩 開催日：令和4年3月19日(土)15:00～16:00
場所：レクチャールーム 聴講者数：18人

聴講者数 計489人

福岡ミュージアムウィーク2021

博物館・美術館の社会的役割を広く多くの方に知ってもらうために、ICOM(国際博物館会議)により定められた「国際博物館の日」(5月18日)。これを記念して、福岡市内の博物館・美術館等が連携し、様々なイベントを通して「出会いの場」「知識の場」「発見の場」である博物館・美術館の魅力味わってもらうことを目的とした事業。本年度は20施設が参加の予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため対面活動は中止。オンライン活動のみ実施した。

連 携 館：福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡県立美術館、福岡市埋蔵文化財センター、「博多町家」ふるさと館、はかた伝統工芸館、王貞治ベースボールミュージアム Supported byリポビタンD、九州大学総合研究博物館、九州産業大学美術館、西南学院大学博物館、三菱地所アルティアム、能古博物館、福岡市動植物園、福岡市文学館、ハウハク、味楽窯美術館、福岡女子大学美術館、福岡市科学館、チームラボフォレスト福岡・SBI証券

期 間：令和3年5月18日(火)～5月30日(日)

■オンラインギャラリーツアー

Zoomを利用し、当館所蔵作品数点を、参加者と対話をしながらオンライン上で紹介。ギャラリーガイドボランティアが実施。

日 時：令和3年5月18日(火)、22日(土) 11:00～11:30

参加人数：計8人

■美術館のおすすめ紹介

当館のおすすめスポットや作品を、スタッフやボランティアが紹介する動画を、期間中に休館日の月曜日を除く毎日YouTube上で公開した。

公開日時：令和3年5月18日(火)～30日(日)のうち5月24日(月)をのぞく毎日1動画ずつ公開。

公開本数：12本

媒 体：YouTube

視聴回数：延べ2,689回(令和3年5月31日(月)まで)

■福岡ミュージアムウィーク2021 記念講演会 シンポジウム「新しい美術館像～コロナ禍のなかで考える」

社会が大きく変わる中、リニューアルも2年目を迎える当館は、大きく変化する社会に向き合うために新しい美術館像を模索している。本シンポジウムでは、コロナ禍という社会を揺るがす災厄を踏まえつつ、未来に向けて当館のあるべき姿を描く。

日 時：令和3年5月22日(土)14:00～16:00

場 所：福岡市美術館1階 ミュージアムホール

定 員：180人

講 師：逢坂恵理子(国立新美術館長) ほか

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「インカ・シヨニバレCBE〈ウィンド・スカルプチャー(SG)II〉設置記念シンポジウム 新しい美術館像～コロナ禍のなかで考える」として7月31日(土)に延期。

■バリアフリーギャラリーツアー 聴覚障がい者のための目で聴くツアー

聴覚に障がいのある方のために、手話通訳と口述筆記者と一緒に美術館学芸員が対話型のギャラリートークを行う。

日 時：令和3年5月29日(土)14:00～15:30

定 員：10人(付き添いの方含む)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期。詳細は「バリアフリーギャラリーツアー」の項をご覧ください。

企画担当：鬼本佳代子

夏休み子ども美術館2021

夏休み子ども美術館2021「これなあに?謎がいっぱい、古い美術」

当館で毎夏開催している教育普及事業「夏休み子ども美術館」。令和3年度は、美術作品の謎やわからないことをテーマに作品を紹介した。また、展覧会に関連して、2つの子どもワークショップを実施。「夏休み子どもとしょかんSNS版」(P29参照)では子ども向け図書をオンライン上で紹介した。

期 間：令和3年7月20日(火)～9月12日(日)

※福岡コロナ特別警報および緊急事態宣言措置のため、8月9日(月・祝)より閉室

印 刷 物：チラシ(A4) ワークシート(A3二つ折り)

■子どもギャラリー「これなあに?謎がいっぱい、古い美術」

内 容：謎やわからないことがある当館所蔵の古美術作品を「一目ではわからないもの」、「調べてみました」、「だれか教えて」の3つの章に分けて子ども向けに展示した。展示室には、ワークシート「こぶうしくんへのお手紙」とそれを投函するためのポストを設置し、作品を見て気づいたことや発見したことを、当館所蔵の「コブウシ土偶」をモチーフにしたマスコット「こぶうしくん」へ宛てたお手紙として書いてもらった。

期 間：令和3年7月20日(火)～9月12日(日)

作品点数：20点

中学生以下の入場者数：334人



子どもギャラリー「これなあに?謎がいっぱい、古い美術」展示の様子

■子どもワークショップ これなあに?推理してつくってみよう!

内 容：作品の解説文を手掛かりに、どのような作品かを想像し、いろいろな素材を使って立体的に制作した。制作した作品を参加者同士で見せ合い、その後で実際の作品も鑑賞した。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、8月8日(日)は参加者をレクチャールームとアートスタジオの2部屋に分けて実施した。また、8月22日(日)は福岡コロナ特別警報および緊急事態宣言措置のため、オンラインに切り替えて実施した。

日 時：①令和3年8月8日(日) レクチャールーム10:30～12:00、アートスタジオ10:45～12:15

②令和3年8月22日(日)10:30～12:00 オンライン上で開催

対 象：小学生～中学生

場 所：レクチャールーム、アートスタジオ

参加人数：①レクチャールーム14人、アートスタジオ16人

②オンライン14人

■これなあに?オンラインでみる謎がいっぱい、古い美術

内 容：Zoomを使い、「これなあに?謎がいっぱい、古い美術」に展示している作品をガイドボランティアと一緒に対話しながらオンライン上で鑑賞するツアーを実施。

日 時：①令和3年7月31日(土)11:00～11:40 ②令和3年8月1日(日) 11:00～11:40

③令和3年8月17日(火)11:00～11:40 ④令和3年8月18日(水)11:00～11:40

⑤令和3年8月19日(木)11:00～11:40 ⑥令和3年8月20日(金)11:00～11:40

対 象：①③⑤小学1年生～6年生、②④⑥小学5年生～中学生

参加人数：①5人、②4人、③4人、④1人、⑤4人、⑥2人

企画担当：上野真歩

ファミリーDAY

若い世代の家族に向け、開館記念日の周知と、家族で体験する美術・美術館の楽しさ、面白さを知ってもらうために、11月3日の開館記念日を含む3日間をファミリーDAYとし、平成25年度より開催している事業。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、美術館内で行うプログラムと、オンラインで行うプログラムを実施した。なお、スタッフとして職員その他、博物館実習生、当館ボランティア、近隣大学の学生が参加した。

日時：令和3年11月3日(水・祝)、4日(木)、5日(金)、6日(土)、7日(日)
10:00～15:00

延べ参加人数：
[美術館での対面プログラム]1,805人(子ども942人、大人863人)
[オンラインプログラム]15人(子ども14人、大人1人)
[動画配信]期間中の視聴回数 延べ409回

ボランティアスタッフ：
館内ボランティア35人、学生ボランティア35人

印刷物：チラシ(A4)
ワークシート(A3二つ折り)

講師名のないものは、美術館職員とボランティアが実施した。

■かいとうキッズ 美術館の謎をとけ!

内容：コレクション展を鑑賞して、展示作品に関するクイズに回答していくプログラム。

日時：令和3年11月3日(水・祝)、6日(土)、7日(日)
場所：(受付)1階ロビー、(会場)コレクション展示室
対象：5歳くらいから
参加人数：1,004人

■アート観察隊

内容：指し書(ワークシート)にしたがって、コレクション展から作品を探し、細部まで観察するプログラム。

日時：令和3年11月3日(水・祝)、6日(土)、7日(日)
場所：(受付)2階ロビー、(会場)コレクション展示室
対象：5歳くらいから
参加人数：626人

■おうちでアート 1分コレクション紹介 [YouTube動画配信]

内容：当館ギャラリーガイドボランティアが、コレクション展に展示中の作品を1分で紹介する動画を5つ制作し、公開した。

日時：令和3年11月3日(水・祝)にYouTubeで動画公開
視聴回数(延べ)：409回(令和3年11月7日16:00時点)

■オンラインツアーで楽しむ福岡市美術館

内容：Zoomを使いオンライン上で、ファンリテーターは当館ギャラリーガイドボランティアが務め、当館の所蔵品を楽しく鑑賞するツアーを実施した。

日時：令和3年11月3日(水・祝)①10:15～11:00
②13:00～13:45 ③14:15～15:00
対象：小学生(事前申込制)
参加人数：15人



「アーティストと一緒に風の彫刻をつくろう!」の様子

■初めてのベビーカーツアー

内容：小さな子どもとその保護者を対象に、美術館を楽しむ方法や館内の設備を紹介するツアー。

日時：令和3年11月4日(木)、5日(金)
①9:30～10:10 ②10:40～11:20
場所：コレクション展示室、ロビーほか
対象：1歳半くらいまでの子どもとその保護者(事前申込制)
参加人数：27人

■アフリカンプリントなバッジをつくろう

内容：当館所蔵の染織品(アフリカンプリント)のもようを紙に印刷。参加者がそれに色を塗り、オリジナルのバッジをつくった。

日時：令和3年11月6日(土)
①10:00～ ②11:00～ ③13:00～ ④14:00～
場所：レクチャールーム
講師：加藤隆之(福岡教育大学准教授)
対象：小学生以上
参加人数：108人

■アーティストと一緒に風の彫刻をつくろう!

内容：福岡県在住アーティスト牛島智子によるワークショップ。令和3年7月に設置されたインカ・シヨニバレCBE(ウインド・スカルプチャー(SG)II)を鑑賞し、その後八女和紙を使って風の彫刻を制作した。

日時：令和3年11月6日(土)、7日(日)10:00～12:00
場所：アートスタジオ
講師：牛島智子(アーティスト)
対象：小中学生とその保護者(事前申込制)
参加人数：40人

企画担当：鬼本佳代子

バリアフリーギャラリーツアー

福岡市美術館では、教育普及活動方針として「アートと生きる」を掲げ、その具体的な活動として「アクセシビリティの向上」をうたっている。「多様な背景を持った人が集う場である美術館で、物理的のみならず心理的にもすべての人が安心して学び、過ごせるような空間づくりを目指す」という目的に従い、身体的な障がいをもった人たちもそうでない人も、親しく、安心して、より日常的に、当館のコレクション展を楽しめるよう、令和2年度よりバリアフリーをうたったギャラリーツアーを実施している。本年度は、視覚障がい者・聴覚障がい者・車いす利用者向けのコレクションのギャラリーガイドツアーを行った。また、普段は車いすを利用しない人たちのための車いすツアーも実施した。



車いすを利用しない方の車いすで美術館ツアー

■聴覚障がい者のための 目で聴くツアー

手話通訳者を介して、対話をしながら当館のコレクションを鑑賞した。また、手話が苦手な参加者には、当館職員が筆記にてサポートを行った。

日時：令和3年10月9日(土)14:00～15:30

参加人数：8人

協力：福岡市聴覚障がい者情報センター

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、5月29日(土)から9月4日(土)に変更後、さらにこの日に変更。

■視覚障がい者のための おしゃべりとてざわりのツアー

目の見える人、見えない人が一緒になり、グループごとに作品について話し合いながら鑑賞を行った。展示室での鑑賞後、アートスタジオにて資料彫刻を触って鑑賞した。

日時：令和3年11月14日(日)14:00～15:30

講師：石田陽介・濱田庄司・松尾さち(ギャラリーコンパ)

参加人数：9人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、8月28日(土)からこの日に変更。

■車いす利用者のためのゆったり車いす鑑賞ツアー

車いす利用者を対象としたギャラリーツアー。当事者と介助者と一緒に、学芸員が当館コレクションを対話をしながら紹介した。

日時：令和4年1月16日(日)10:00～12:00

参加人数：2人(介助者2人)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、9月11日(土)からこの日に変更。

■車いすを利用しない方の車いすで美術館ツアー

普段車いすを利用しない人たちが、車いすに乗って展示室へ行き、学芸員による対話型鑑賞を体験した。

日時：令和4年1月16日(日)14:00～15:30

参加人数：5人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、9月11日(土)からこの日に変更。

全て参加費無料

企画担当：鬼本佳代子

第7回 いきヨウヨウ講座「想いを届けるメッセージ～銅版画でカード作り」

内容：シニア世代の文化活動をサポートする教育活動のひとつとして、平成25年度より開始。65歳以上の方を対象に、作品鑑賞やものづくり、身体表現など、アートを通して心の充実を実感してもらうことを目指している。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、特に高齢者にとっては人に会えない状況が続く年となった。そうした中で他者とのつながりを感じてもらうきっかけ作りとして、大切な人にメッセージを贈るためのカードを作る内容とした。今回は、銅版画をとりあげ、特別な手作りのカードを制作してもらうとともに、銅版画に親しんでもらうことも目的とした。

内容は、1日目に銅版画の所蔵作品を鑑賞し、作品に込められた作家の想いやその表現にかかわる技法について講師の話聞いたあと、自身の作品の図案を考え銅板に転写するところまでを行った。2日目はドライポイントとメゾチントの技法を使って版を彫り、プレス機で印刷。2種類のカード(ハガキタイプと見開きタイプ)を制作した。

日時：令和4年3月5日(土)、6日(日) 13:30～15:30(2日とも)

場所：アートスタジオ

講師：加藤 恵(版画家・九州産業大学非常勤講師など)

参加人数：14人



企画担当：中原千代子

博物館実習

博物館法による学芸員資格取得のための実習を大学からの依頼により毎年実施している。令和3年度は下記大学の11人を受け入れた。実習期間は令和3年4月27日から11月30日のうちの5日間。

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実習期間を5日間に変更し実施した。

■京都芸術大学	通信教育芸術学部 芸術学コース	1人
■九州産業大学	芸術表現学科	1人
■久留米大学	文学部 情報社会学科	1人
■佐賀大学	芸術地域デザイン学部 芸術表現コース	1人
	芸術地域デザイン学部 地域デザインコース	2人
■昭和女子大学	人間文化学部 歴史文化学科	1人
■西南学院大学	国際文化学部 国際文化学科	1人
■筑紫女学園大学	文学部 英語学科	1人
■福岡大学	人文学部 文化学科	2人

企画担当：上野真歩、中務美紀

職場体験学習

学校教育の一環として職場体験学習が行われており、美術館でも受け入れてコレクション展示の受付、監視等の体験学習を行っているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。

図書企画

■美術情報コーナー図書特集

美術情報コーナーの書棚の一部に当館開催の展覧会に関する資料の特集を行い、来館者に美術に関する知識や興味をより深めてもらえるよう、資料を通しての普及啓蒙活動を行った。

1.コレクション展関連図書特集

コレクション展示室での各展示に関連する図書を特集した。

2.特別展関連図書特集

・令和3年4月27日(火)～7月18日(日)「高畑勲展 日本のアニメーションに遺したもの」関連

・令和3年10月5日(火)～11月21日(日)「没後50年 電力王・松永安左衛門の茶」関連

・令和3年12月21日(火)～令和4年2月13日(日)「ゴッホ展 響きあう魂 ヘレーネとフィンセント」関連

■夏休み子どもとしゃかんSNS版

夏休み子ども美術館2021「これなあに?謎がいっぱい、古い美術」に関連して、よく見て考えたり、発見したりすることを楽しんでもらえるような図書を、SNS上で週1回1冊ずつ、6週にわたって紹介した。

また、紹介した図書は夏休み子ども美術館の期間中(令和3年7月20日(火)～9月12日(日))、美術情報コーナーに配架した。

S N S：Facebook、Twitter、Instagram

投稿日：令和3年7月22日(木・祝)、29日(木)、8月5日(木)、12日(木)、19日(木)、26日(木)

紹介した図書：『おばけのマ〜ルとおべんとう』(なかいけい え・けーたろう ぶん／中西出版／2007年)

『ひらめき美術館 第3館(小学館あーとぶっく)』(結城昌子 文／小学館／2002年)

『文様えほん』(谷山彩子 作／あすなろ書房／2017年)

『ふわふわ なあに(シリーズびじゅつのゆうえんち)』(浅川真紀 構成・文／福音館書店／2005年)

『ぼくのニセモノをつくるには』(ヨシタケシンスケ 作／プロンズ新社／2014年)

『たかこ』(清水真裕 文・青山友美 絵／童心社／2011年)

ボランティア活動

当館では、昭和51年にボランティアを募集し、昭和54年の美術館開館と同時に活動を開始した。現在、ギャラリーガイドボランティア、新聞情報ボランティア、図書整理ボランティア、美術家情報整理ボランティアが活動している。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、新聞情報・図書整理・美術家情報整理のボランティア活動はそれぞれ月1回程度にして行った。また、ギャラリーガイドボランティアは、来館者を対象に毎日実施しているツアーが中止となったが、学校・一般団体を対象としたツアーを中心に活動を行った。

令和3年度の登録人数

ギャラリーガイド	新聞情報	図書整理	美術家情報整理	合計(人)
86	44	26	15	171

ギャラリーガイドボランティア

【活動内容】

■ギャラリーツアー

開館日の午前11時と午後2時に40分程度、当館の所蔵作品を紹介するギャラリーツアーを実施している。ボランティアは、コレクション展の展示作品から3作品を選び、対話型と解説型を織り交ぜたハイブリッド型で鑑賞活動を行っている。参加は無料。
※令和3年度は前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためギャラリーツアーは中止した。

■団体向けツアー

ギャラリーツアー以外に、申込みをいただいた団体へのギャラリーツアーを行っている。参加団体は以下の通り。
※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和3年4月から11月は対面によるボランティアのツアーは中止。令和3年12月から、学校団体および一般団体から希望があった場合は、対面でのツアーを実施した。

実施数 団体数3件 児童・生徒8人 一般30人 引率8人 総計46人

来館日程		団体名	児童・生徒(人)	一般(人)	引率(人)	合計(人)
令和3年	12月3日(金)	百道浜老人クラブ		20		20
令和4年	1月26日(水)	福岡夜話会		8		8
	3月31日(木)	放課後等デイサービスみはなだ	8	2	8	18

■スクールツアー

学校団体を対象にギャラリーツアーを行っている。詳細は「スクールツアー」の項目(p.22)を参照のこと。

■英語ツアー

毎月4回(火、木、金、土の各1回)コレクション展に展示されている作品から3点を選んで、英語で作品を紹介するツアー。参加は無料。事前予約制だが、当日空きがあれば参加可。
※令和3年度は前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため英語ツアーは中止した。

新聞情報ボランティア

【活動内容】

日曜日・金曜日を除く毎日、曜日毎に担当する新聞を決め、新聞の切り抜き及びファイル作業などを行う。月に1回合同作業日を設け、各グループ間での情報交換・意志の統一を図る。死亡記事の整理作業は、月末に各曜日グループ持ち回りで行う。新聞切り抜きのなかから特に興味深い記事をピックアップしてまとめる「おすすめ新聞美術記事」を、各曜日グループ持ち回りにより基本的に月1回のペースで作成する。

月曜日：毎日新聞
火曜日：読売新聞
水曜日：西日本新聞
木曜日：朝日新聞
土曜日：日経新聞

昨年度に続き、活動日・活動時間を制限したシフトを組み、活動を行った。制限により新聞は蓄積するばかりであり、限られた活動時間は切り抜き作業に専念せざるをえない状況である。合同作業及び「おすすめ新聞美術記事」は蓄積された新聞が一定の数に収まるまでは当面休止とし、ファイリング作業は担当学芸員が行なうこととしている。

図書整理ボランティア

【活動内容】

基本的に火曜日から土曜日までの各曜日午前と午後の班に分かれ、資料整理業務に関する作業を行った。

■作家資料整理

作家に関するパンフレット資料への受付印の押印、資料保存用の袋および検索用カードを作成する。
古くなった資料保存用の袋を新しいものに作り替える。

■広報誌整理

他機関発行の広報誌を綴じる作業、および広報誌を綴じておくファイルを作成する。

■雑誌記事整理

雑誌に掲載されている美術関係の記事内容を種別する。
福岡市美術館の所蔵品、施設、展覧会に関する雑誌掲載記事索引ファイルを作成する。

■紀要・年報類の受入

ラベルに該当する機関コードを記入し、資料に添付する。
資料を書架に配架する。

■パソコン入力

図録に掲載されている作家名をパソコンに入力する。また、入力された情報が正しいかどうかチェックする。

■新規受け入れ図書の点検・配架

新しく受け入れる図書の装備(登録番号、ラベル、蔵書印)を点検後、所定の位置に配架する。

■書架整理

配架している図書の場所を調整、移動、整理する。

美術家情報整理ボランティア

【活動内容】

- ①美術家による活動についてのDM(ダイレクトメール)を内容別に分類し、作家名、展覧会(イベント)名、会期、会場名等の基本情報をデータベース化している。令和4年3月29日現在で24666件のデータを入力済み。
- ②データ入力の済んだDMを整理し、作家名別、会場別に保管する。

【活動日】

月～金曜日。各曜日で午前と午後の各班にて作業を行う。
昨年度に続き、活動日・活動時間を制限したシフトを組み、活動を行った。

出版物

■福岡市美術館活動の記録

名称	規格	頁数	発行日
令和2年度 福岡市美術館活動の記録	A4	69	令和3年12月24日

■展覧会図録

名称	規格	頁数	発行日
没後50年 電力王・松永安左工門の茶	A4	151	令和3年10月9日
田部光子展「希望を捨てるわけにはいかない」	B5変形	160	令和4年1月5日
シンガポール・スタイル 1850-1950	B5	152	令和4年1月19日

■コレクション展リーフレット(近現代美術)

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
作品リスト	富田溪仙展	B5	2	近現代美術室A	令和3年3月30日
作品リスト	織田廣喜と平野遼(西本コレクションより)	B5	2	近現代美術室B	令和3年3月30日
作品リスト	新収蔵品展(近現代美術)	B5	2	近現代美術室B	令和3年3月30日
作品リスト	コレクションハイライト	B5	4	近現代美術室A・C	令和3年5月18日
作品リスト	近代日本の美術：明治から昭和初期まで①	B5	2	近現代美術室A	令和3年5月18日
306	野見山暁治・豊福知徳・菊畑茂久馬 —地方と海外のはざままで	B5	4	近現代美術室B	令和3年5月18日
307	和田三造《博多繁昌の図》ができるまで	B5	4	近現代美術室A	令和3年8月3日
308	ミニマルなかたち	B5	4	近現代美術室B	令和3年8月3日
作品リスト	近代日本の美術：明治から昭和初期まで②	B5	2	近現代美術室A	令和3年10月19日
309	自画像のようなもの	B5	4	近現代美術室B	令和3年10月19日
作品リスト	田部光子展「希望を捨てるわけにはいかない」	B5	4	近現代美術室A・B	令和4年1月5日
作品リスト	新収蔵品展	B5	2	近現代美術室A・C	令和4年3月24日
310	絵になる景色 吉田博を中心に	B5	4	近現代美術室B	令和4年3月24日

■コレクション展リーフレット(古美術)

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
作品リスト	東光院のみほとけF	B5	2	東光院仏教美術室	令和3年3月16日
234	黒田家の名宝	B5	4	古美術企画展示室	令和3年4月13日
作品リスト	新収蔵品展	B5	2	古美術企画展示室	令和3年4月13日
作品リスト	春の名品展	B5	2	松永記念館室	令和3年4月13日
田中丸コレクション 解説第8号	田中丸コレクション 古唐津の味わい	B5	4	古美術企画展示室	令和3年6月1日
作品リスト	ふくろもの一壺と瓶一	B5	2	松永記念館室	令和3年6月15日
作品リスト	秋の名品展	B5	2	松永記念館室	令和3年8月31日
235	遊びと笑いの日本美術	B5	4	古美術企画展示室	令和3年9月14日
作品リスト	かがやく螺鈿、はなやく蒔絵	B5	2	古美術企画展示室	令和3年11月16日
236	これであなたも仙厓通	B5	4	古美術企画展示室	令和3年11月16日
作品リスト	古色蒼然 時を重ねた美の世界	B5	2	松永記念館室	令和3年11月16日

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
237	捧げものの世界	B5	4	松永記念館室	令和4年1月19日
238	シンガポール・スタイル 1850-1950 プラナカン・ファッション100年の旅 リー・コレクションとクスマ・コレクションより	B5	4	古美術企画展示室	令和4年1月19日
239	ながれゆく美 日本美術と水	B5	4	古美術企画展示室	令和4年3月30日
240	新収蔵品展	B5	4	古美術企画展示室	令和4年3月30日

■研究紀要

名称	規格	頁数	発行日
福岡市美術館 研究紀要 第10号	A4	52	令和4年3月18日

■福岡市美術館 季刊誌 エスプラナード

No.	内容	規格	頁数	発行日
203	はるきぬ[館長 岩永悦子]／見てから読むか、読んでから見るか 尾形乾山《茄子図 一幅》[総館長 中山喜一郎]／ミドコロドコ? 黒田家の名室[宮田太樹]／ミドコロドコ? 高畑勲展 / 2021 福岡市美術館の、これを見よ! 没後50年「電力王・松永安左工門の茶」[後藤恒]、田部光子展[正路佐知子]、シンガポールスタイル: 1850-1950[館長 岩永悦子]、どこでも美術館、夏休み子ども美術館2021、おもしろキャプション、いきヨウヨウ講座 / オンラインで認知症プログラムやってみました / 広告 / LECTURE つきなみ講座 / FEATURE 福岡ミュージアムウィーク2021、第7回 いきヨウヨウ講座 / CALENDAR / おまけ美術館 / ふくおか応援寄付 / わたすclub / 利用案内	B5 変形	12	令和3年4月1日
204	風を受けて、未来へ向かう[館長 岩永悦子]／見てから読むか、読んでから見るか《青銅ヘーヴァジュラ法螺貝》[後藤恒]／ミドコロドコ? インカ・シヨニバルCBE《ウインド・スカルプチャー(SG)II》[正路佐知子、山口洋三]／ミドコロドコ? 夏休み子ども美術館2021「これなあに? 謎がいっぱい、古い美術」[上野真歩]／ミドコロドコ? コレクションハイライト[正路佐知子] / KYNE Interview[正路佐知子] / CALENDAR / LECTURE つきなみ講座 / ふくおか応援寄付 / 利用案内	B5 変形	12	令和3年8月1日
205	没後50年電力王・松永安左工門の茶／見てから読むか、読んでから見るか ケーテ・コルヴィッツ《前向き自画像》[忠あゆみ]／ミドコロドコ? 没後50年 電力王・松永安左工門の茶[後藤恒]／長いリニューアル そしてSG(セカンドジェネレーション)へ。[館長 岩永悦子] / REPORT 夏休み子ども美術館2021[上野真歩]、福岡ミュージアムウィーク2021[崎田明香] / FEATURE ファミリーDAY2021[鬼本佳代子]、植物園、油山市民の森とコラボ「想いの種」ワークショップ[中原千代子] / LECTURE つきなみ講座 / 広告 / CALENDAR / おまけ美術館 / ふくおか応援寄付 / わたすclub / 利用案内	B5 変形	12	令和3年10月1日
206	「希望を捨てるわけにはいかない」[正路佐知子]／見てから読むか、読んでから見るか やなぎみわ《Eternal City I》[山口洋三]／ミドコロドコ? シンガポールスタイル1850-1950[館長 岩永悦子]／ミドコロドコ? ゴッホ展[忠あゆみ] / 学芸員と、みてはなし。コレクションハイライト「コレクションと展示のジェンダーバランスを問い直す」[正路佐知子] / REPORT ファミリーDAY2021[鬼本佳代子] / 広告 / LECTURE つきなみ講座 / FEATURE 第53回(令和3年度)福岡市美術館展作品募集 / CALENDAR / おまけ美術館 / ふくおか応援寄付 / わたすclub / 利用案内	B5 変形	12	令和3年1月1日

三館連携・協力企画

内容：保健福祉局からの依頼により、9月21日の国際アルツハイマーデー啓発のため、当館、福岡市博物館、福岡アジア美術館が各館のSNSで高齢者プログラムについて発信した。発信内容は令和3年2月に実施したオンライン回想法に言及し、国際アルツハイマーデー啓発とした。

発信日：令和3年9月21日

その他の連携企画

■植物園で「想いの種」をつくろう!

内容：どこでも美術館の教材の一つ「ワークショップボックス」を使い、福岡市植物園と共催で、ワークショップを実施した。植物園で種を観察後、「ワークショップボックス」教材の一つである小林重予《記憶の光合成》等を鑑賞。それらの体験を元に、種になぞらえて自分の想いを絵画化してもらった。

日時：10月2日(土)10:00~16:00

場所：福岡市植物園

講師：佐藤ひとみ(福岡市植物園) 中原千代子(福岡市美術館)

参加人数：12人

共催：福岡市植物園

協力：田川市美術館

■福岡市美術館と油山市民の森で「想いの種」をつくろう!

内容：どこでも美術館の教材の一つ「ワークショップボックス」を使い、油山市民の森と共催で、2日間のワークショップを実施した。1日目は油山市民の森にて、「ワークショップボックス」教材の一つである小林重予《記憶の光合成》等を鑑賞し、その後、種や果実を中心に自然観察を行った。2日目は、福岡市美術館にて、1日目の体験を元に、自分の想いを種になぞらえて立体作品を制作した。

日時：11月23日(火・祝)10:00~14:00

11月28日(日)10:00~14:30

場所：油山市民の森(11月23日)、福岡市美術館(11月28日)

講師：小川真樹(油山市民の森) 崎田明香(福岡市美術館)

参加人数：延べ35人

共催：(一財)福岡市市民の森協会

協力：田川市美術館

■東区芸術文化祭 福岡市美術館「ヤセ犬をつくろう!」

内容：福岡市東区が主催する「令和3年度東区芸術文化祭」のプログラムの一つとして、どこでも美術館の教材「ヤセ犬」を使ってワークショップを実施した。

日時：12月11日(土)10:00~12:00

12月12日(日)10:00~12:00

場所：なみきスクエア1階「ひまわりひろば」

参加人数：18人

主催：東区役所(東区総務部企画振興課)

■令和3年度日本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ

『博物館には、リフレッシュ効果がある？—学芸員体験と科学的データの測定—』

内 容：九州産業大学の緒方泉教授が行っている「博物館浴」に関するデータ収集に協力。被験者が当館の作品鑑賞によってストレスを軽減させたかどうかを心理測定した。実験の間には、被験者に対し、当館学芸員が美術館の活動についてレクチャーを行った。

日 時：令和4年1月9日(日)10:00～15:30

参加人数：21人

主 催：九州産業大学、九州産業大学美術館

共 催：日本学術振興会、福岡市博物館、福岡市美術館

■令和3年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」in 福岡市美術館

研修会「ユニバーサル・ミュージアム-多文化共生とやさしい日本語」への協力

内 容：九州産業大学の緒方泉教授が委員長を務め、九州産業大学美術館が主体となって行っている博物館と高齢福祉の関係づくりについての研究・研修を実施している。当館は、主催の「2042年問題」解決に向けた社会資源を活用した「健康寿命」増進プログラム開発とリンクワーカー人材育成事業実行委員会に参加する館として、「やさしい日本語」の学芸員等施設職員向け研修のため会場提供と活動協力を行った。

日 時：令和4年2月21日(月)10:00～15:30

講 師：村田陽次(東京都生活文化局都民生活部地域活動推進課)

高尾戸美(多摩六都科学館)

緒方泉(九州産業大学)

参加人数：16人

主 催：「2042年問題」解決に向けた社会資源を活用した「健康寿命」増進プログラム開発とリンクワーカー人材育成事業実行委員会(九州産業大学美術館〈代表〉、九州大学総合研究博物館、福岡市博物館、福岡市美術館、海の中道海洋生態科学館、田川市石炭・歴史博物館、直方谷尾美術館)

紀要の発行

令和3年度、福岡市美術館において「福岡市美術館 研究紀要 第10号」を発行した。

内容は以下の通りである。

題目	執筆者
美術館・博物館が行う認知症患者のための回想法プログラム ～福岡市美術館・福岡市博物館・福岡アジア美術館との連携活動として	鬼本佳代子 蒲池昌江 河口綾香
近代における仙厓顕彰をめぐる覚書 —福岡市美術館蔵 仙厓義梵筆、太室宗宸賛《寒山拾得図》の紹介を兼ねて	宮田太樹
「富野由悠季の世界」展 企画の実際—アニメーション企画展の一事例として	山口洋三
『雲中庵茶会記』翻刻稿 ⑥	後藤恒

美術資料

令和3年度は近現代美術作品265点、古美術作品33件を収集した。

近現代美術

所蔵品番号順

寄贈(264点)

No.	種別(日)	所蔵品番号	作者名(日)	作品名(日)	制作年	技法(日)	サイズ(cm)
1	油彩等	1-A-738	森山 安英	アルミナ頌 05	1987-89	油彩、樹脂・画布	162×130.3
2	油彩等	1-A-739	森山 安英	アルミナ頌 18-1	1990頃	油彩、樹脂・画布	194×162
3	油彩等	1-A-740	森山 安英	非在のオブジェ 27	1997	油彩、樹脂、アルミ粉末・画布	145.5×112.5
4	油彩等	1-A-741	森山 安英	光ノ遠近法ニヨル連作 26-3	2004	油彩、樹脂・画布	130.3×194
5	油彩等	1-A-742	森山 安英	光ノ遠近法ニヨル連作 26-4	2004	油彩、樹脂・画布	130.3×194
6	油彩等	1-A-743	森山 安英	水辺にて 08	2010	油彩、樹脂、パステル・板	91.5×183
7	油彩等	1-A-744	森山 安英	幸福の容器 03	2011	油彩、樹脂、パステル・板	90×270
8	油彩等	1-A-745	森山 安英	窓-51	2017-2021	油彩、マスキングテープ・画布	194×112
9	油彩等	1-A-746	森山 安英	石内都写真集『ひろしま』による模写I	2020	油彩、鉛筆、糸、トレーシングペーパー・画布	33.3×22.2
10	油彩等	1-A-747	森山 安英	石内都写真集『ひろしま』による模写II	2019-2020	油彩、鉛筆・画布	72.7×50
11	油彩等	1-A-748	森山 安英	石内都写真集『ひろしま』による模写V	2020	油彩、鉛筆、糸・画布	72.7×50
12	油彩等	1-A-749	森山 安英	石内都写真集『From ひろしま』による模写IV	2020	油彩、鉛筆、糸・画布	100×65.2
13	油彩等	1-A-750	森山 安英	石内都写真集『From ひろしま』による模写VI	2021	油彩、鉛筆、糸・画布	100×72.7
14	油彩等	1-A-751	KYNE	Consider Others	2021	アクリル・画布	150.5×99.8
15	油彩等	1-A-752	寺田 健一郎	集合体	1964	油彩・画布	80×100.5
16	日本画	1-B-240	和田 三造	麥壘	1959	紙本着色・掛幅装	46.5×59
17	日本画	1-B-241	和田 三造	呉清源書圍碁十訣	1952	紙本着色	64.3×52.5
18	日本画	1-B-242	和田 三造	萬福寺の微雨	1950	紙本着色	45.6×56.4
19	日本画	1-B-243	和田 三造	深苑	1950	紙本着色	50.7×66.2
20	日本画	1-B-244	和田 三造	或日の庭	1950	紙本着色	47×68.6
21	日本画	1-B-245	和田 三造	法華堂の一隅	1959	紙本着色	45.5×59.5
22	日本画	1-B-246	和田 三造	酔翁亭記の一場面	1950	紙本着色	56.1×68.5
23	素描	1-D-467	川辺 ナホ	One Leaf	2014	錫・印刷物	15.2×10
24	素描	1-D-468	川辺 ナホ	One Leaf	2014	錫・印刷物	14.9×10
25	素描	1-D-469	川辺 ナホ	One Leaf	2014	錫・印刷物	15×10.4
26	素描	1-D-470	川辺 ナホ	One Leaf	2014	錫・印刷物	17.9×10.9
27	素描	1-D-471	川辺 ナホ	One Leaf	2014	錫・印刷物	18×10.9
28	素描	1-D-472	川辺 ナホ	One Leaf	2014	錫・印刷物	17.1×10.6
29	版画	1-E-1067	KYNE	Consider Others	2020	シルクスクリーン・紙	30×23
30	写真	1-F-551	(撮影者不詳)	イルフ逃亡	1939頃	ゼラチンシルバープリント	10.2×15.3
31	写真	1-F-552	(撮影者不詳)	イルフ逃亡	1939頃	ゼラチンシルバープリント	10.2×15.3
32	写真	1-F-553	久野 久	題不詳	1936	ゼラチンシルバープリント	25.2×30.1
33	写真	1-F-554	久野 久	海のショーウィンドウ	1938	ゼラチンシルバープリント	30.3×25.2
34	写真	1-F-555	久野 久	肖像	1939	ゼラチンシルバープリント	29.1×25.2
35	写真	1-F-556	久野 久	貝殻	1941	ゼラチンシルバープリント	31×25.6
36	写真	1-F-557	久野 久	貝殻	1941	ゼラチンシルバープリント	28.3×22.5
37	写真	1-F-558	久野 久	貝象	1942	ゼラチンシルバープリント	29.7×24.3
38	写真	1-F-559	久野 久	貝殻	1941	ゼラチンシルバープリント	27.2×24.9
39	写真	1-F-560	久野 久	薔薇のシルエット	制作年不詳	ゼラチンシルバープリント	38×30.3
40	写真	1-F-561	久野 久	題不詳	制作年不詳	ゼラチンシルバープリント	29.9×24.3
41	写真	1-F-562	久野 久	題不詳	1940頃	ゼラチンシルバープリント	25.8×30.4
42	写真	1-F-563	久野 久	即興	1938頃	ゼラチンシルバープリント	38×30.3
43	写真	1-F-564	久野 久	題不詳	1938	ゼラチンシルバープリント	24.2×29.9
44	写真	1-F-565	久野 久	題不詳(貝殻)	1938-1942頃	ゼラチンシルバープリント	30.9×25.5

No.	種別(日)	所蔵品番号	作者名(日)	作品名(日)	制作年	技法(日)	サイズ(cm)
45	写真	1-F-566	久野 久	題不詳(貝殻)	1941	ゼラチンシルバープリント	276×19.7
46	写真	1-F-567	久野 久	題不詳(貝殻)	1941	ゼラチンシルバープリント	30.4×25.8
47	写真	1-F-568	久野 久	題不詳(貝殻)	1938-1942頃	ゼラチンシルバープリント	25.8×30.3
48	写真	1-F-569	久野 久	題不詳(貝殻)	1938-1942頃	ゼラチンシルバープリント	30.4×25.8
49	写真	1-F-570	久野 久	題不詳(貝殻)	1938-1942頃	ゼラチンシルバープリント	30.8×25.4
50	写真	1-F-571	久野 久	題不詳(貝殻)	1938-1942頃	ゼラチンシルバープリント	30.5×25.8
51	写真	1-F-572	久野 久	SPOT	1937	ゼラチンシルバープリント	38.1×29.6
52	写真	1-F-573	久野 久	題不詳	制作年不詳	ゼラチンシルバープリント	25.7×30.4
53	写真	1-F-574	久野 久	題不詳(貝殻)	1938-1942頃	ゼラチンシルバープリント	30.6×25.9
54	写真	1-F-575	奈良原 一高	緑なき島 軍艦島：軍艦島全景 [人間の土地]	1954-57(プリント2020)	ゼラチンシルバープリント	21.7×32.8
55	写真	1-F-576	奈良原 一高	緑なき島 軍艦島：岩壁 [人間の土地]	1954-57(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	47.7×32
56	写真	1-F-577	奈良原 一高	緑なき島 軍艦島：時化 [人間の土地]	1954-57(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	32×47.9
57	写真	1-F-578	奈良原 一高	緑なき島 軍艦島：時化 [人間の土地]	1954-57(プリント2020)	ゼラチンシルバープリント	32.7×21.7
58	写真	1-F-579	奈良原 一高	緑なき島 軍艦島：岩壁 [人間の土地]	1954-57(プリント1986)	ゼラチンシルバープリント	32.2×48.0
59	写真	1-F-580	奈良原 一高	緑なき島 軍艦島：地下道 [人間の土地]	1954-57(プリント2016)	ゼラチンシルバープリント	31.9×47.3
60	写真	1-F-581	奈良原 一高	緑なき島 軍艦島：雪の貯炭場 [人間の土地]	1954-57(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	31.9×48.2
61	写真	1-F-582	奈良原 一高	緑なき島 軍艦島：浴場 [人間の土地]	1954-57(プリント1986)	ゼラチンシルバープリント	21.9×33
62	写真	1-F-583	奈良原 一高	緑なき島 軍艦島：浴場 [人間の土地]	1954-57(プリント2020)	ゼラチンシルバープリント	33×21.9
63	写真	1-F-584	奈良原 一高	緑なき島 軍艦島：アパート俯瞰、昼景 [人間の土地]	1954-57(プリント1999)	ゼラチンシルバープリント	32.9×21.8
64	写真	1-F-585	奈良原 一高	緑なき島 軍艦島：アパート [人間の土地]	1954-57(プリント1986)	ゼラチンシルバープリント	33×21.8
65	写真	1-F-586	奈良原 一高	緑なき島 軍艦島：潜水服のある風景 [人間の土地]	1954-57(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	48×31.7
66	写真	1-F-587	奈良原 一高	緑なき島 軍艦島：海を見る少年 [人間の土地]	1954-57(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	32×48
67	写真	1-F-588	奈良原 一高	緑なき島 軍艦島：中ノ島の無縁墓地 [人間の土地]	1954-57(プリント1996)	ゼラチンシルバープリント	32.6×21.5
68	写真	1-F-589	奈良原 一高	緑なき島 軍艦島：アパートの屋上 [人間の土地]	1954-57(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	48.1×32.0
69	写真	1-F-590	奈良原 一高	緑なき島 軍艦島：夕陽の軍艦島 [人間の土地]	1954-57(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	33×21.9
70	写真	1-F-591	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村：夜の熔岩 [人間の土地]	1954-57(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	48×31.7
71	写真	1-F-592	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村：草を取る老婆 [人間の土地]	1954-57(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	21.7×32.9
72	写真	1-F-593	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村：破れた野良着 [人間の土地]	1954-57(プリント1996)	ゼラチンシルバープリント	32.9×21.7
73	写真	1-F-594	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村：薪運び [人間の土地]	1954-57(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	31.7×48.1
74	写真	1-F-595	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村：むしろの扉 [人間の土地]	1954-57(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	32.7×21.5
75	写真	1-F-596	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村：メンコ遊び [人間の土地]	1954-57(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	33×21.6
76	写真	1-F-597	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村：露天風呂 [人間の土地]	1954-57(プリント1999)	ゼラチンシルバープリント	32.9×21.6
77	写真	1-F-598	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村：牛を追う少年、燃島 [人間の土地]	1954-57(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	31.7×48.1
78	写真	1-F-599	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村：燃島の流木 [人間の土地]	1954-57(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	33×21.8
79	写真	1-F-600	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村：埋れた鳥居 [人間の土地]	1954-57(プリント2020)	ゼラチンシルバープリント	40.6×26.9
80	写真	1-F-601	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村：船底に横たわる老人 [人間の土地]	1954-57(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	21.8×33
81	写真	1-F-602	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村：雨の日の熔岩の入江 [人間の土地]	1954-57(プリント1986)	ゼラチンシルバープリント	21.8×33

No.	種別(日)	所蔵品番号	作者名(日)	作品名(日)	制作年	技法(日)	サイズ(cm)
82	写真	1-F-603	奈良原 一高	火の山の麓 黒神村: 月の出の入江 [人間の土地]	1954-57(プリント1999)	ゼラチンシルバープリント	33×21.5
83	写真	1-F-604	奈良原 一高	無国籍地(1)[無国籍地]	1954(プリント2020)	ゼラチンシルバープリント	32.8×21.5
84	写真	1-F-605	奈良原 一高	無国籍地(3)[無国籍地]	1954(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	22×33
85	写真	1-F-606	奈良原 一高	無国籍地(7)[無国籍地]	1954(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	33×21.2
86	写真	1-F-607	奈良原 一高	無国籍地(9)[無国籍地]	1954(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	22×33.1
87	写真	1-F-608	奈良原 一高	無国籍地(11)[無国籍地]	1954(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	33×21.5
88	写真	1-F-609	奈良原 一高	無国籍地(13)[無国籍地]	1954(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	33×22
89	写真	1-F-610	奈良原 一高	無国籍地(14)[無国籍地]	1954(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	22.1×33
90	写真	1-F-611	奈良原 一高	無国籍地(18)[無国籍地]	1954(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	33×21.8
91	写真	1-F-612	奈良原 一高	無国籍地(19)[無国籍地]	1954(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	33×21.8
92	写真	1-F-613	奈良原 一高	無国籍地(20)[無国籍地]	1954(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	33.0×22.7
93	写真	1-F-614	奈良原 一高	無国籍地(23)[無国籍地]	1954(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	33.1×22
94	写真	1-F-615	奈良原 一高	無国籍地(25)[無国籍地]	1954(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	33×21.7
95	写真	1-F-616	奈良原 一高	無国籍地(26)[無国籍地]	1954(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	33×21.1
96	写真	1-F-617	奈良原 一高	無国籍地(28)[無国籍地]	1954(プリント2020)	ゼラチンシルバープリント	21.7×32.8
97	写真	1-F-618	奈良原 一高	無国籍地(30)[無国籍地]	1954(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	22.4×33
98	写真	1-F-619	奈良原 一高	無国籍地(32)[無国籍地]	1954(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	33.1×22.1
99	写真	1-F-620	奈良原 一高	無国籍地(33)[無国籍地]	1954(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	33.2×21.9
100	写真	1-F-621	奈良原 一高	無国籍地(34)[無国籍地]	1954(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	33×21.6
101	写真	1-F-622	奈良原 一高	無国籍地(35)[無国籍地]	1954(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	33×21.9
102	写真	1-F-623	奈良原 一高	無国籍地(38)[無国籍地]	1954(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	33×21.8
103	写真	1-F-624	奈良原 一高	無国籍地(41)[無国籍地]	1954(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	33.2×21.9
104	写真	1-F-625	奈良原 一高	無国籍地(44)[無国籍地]	1954(プリント1987)	ゼラチンシルバープリント	22.5×33.0
105	写真	1-F-626	奈良原 一高	沈黙の園(1)[王国]	1958(プリント1977)	ゼラチンシルバープリント	25.9×16.8
106	写真	1-F-627	奈良原 一高	沈黙の園(3)[王国]	1958(プリント1977)	ゼラチンシルバープリント	26×17.2
107	写真	1-F-628	奈良原 一高	沈黙の園(4)[王国]	1958(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	47.7×32.4
108	写真	1-F-629	奈良原 一高	沈黙の園(5)[王国]	1958(プリント1996)	ゼラチンシルバープリント	31.7×47.7
109	写真	1-F-630	奈良原 一高	沈黙の園(6)[王国]	1958(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	47.5×31.4
110	写真	1-F-631	奈良原 一高	沈黙の園(7)[王国]	1958(プリント1999)	ゼラチンシルバープリント	26×17.3
111	写真	1-F-632	奈良原 一高	沈黙の園(9)[王国]	1958(プリント1996)	ゼラチンシルバープリント	47.8×31.7
112	写真	1-F-633	奈良原 一高	沈黙の園(12)[王国]	1958(プリント1998)	ゼラチンシルバープリント	47.7×37.7
113	写真	1-F-634	奈良原 一高	沈黙の園(18)[王国]	1958(プリント1998)	ゼラチンシルバープリント	47.6×31.8
114	写真	1-F-635	奈良原 一高	沈黙の園(21)[王国]	1958(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	47.8×32.1

No.	種別(日)	所蔵品番号	作者名(日)	作品名(日)	制作年	技法(日)	サイズ(cm)
115	写真	1-F-636	奈良原 一高	沈黙の園(22)[王国]	1958(プリント1998)	ゼラチンシルバープリント	47.9×37.7
116	写真	1-F-637	奈良原 一高	沈黙の園(23)[王国]	1958(プリント1996)	ゼラチンシルバープリント	47.7×30.2
117	写真	1-F-638	奈良原 一高	沈黙の園(25)[王国]	1958(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	31.7×47.8
118	写真	1-F-639	奈良原 一高	沈黙の園(30)[王国]	1958(プリント1996)	ゼラチンシルバープリント	47.8×31.6
119	写真	1-F-640	奈良原 一高	沈黙の園(32)[王国]	1958(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	47.9×31.8
120	写真	1-F-641	奈良原 一高	沈黙の園(40)[王国]	1958(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	47.8×31.6
121	写真	1-F-642	奈良原 一高	沈黙の園(47)[王国]	1958(プリント1999)	ゼラチンシルバープリント	32.9×21.8
122	写真	1-F-643	奈良原 一高	沈黙の園(48)[王国]	1958(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	47.8×26.8
123	写真	1-F-644	奈良原 一高	沈黙の園(49)[王国]	1958(プリント1999)	ゼラチンシルバープリント	33×21.9
124	写真	1-F-645	奈良原 一高	沈黙の園(52)[王国]	1958(プリント1996)	ゼラチンシルバープリント	47.9×31.1
125	写真	1-F-646	奈良原 一高	沈黙の園(53)[王国]	1958(プリント1998)	ゼラチンシルバープリント	47.6×31.7
126	写真	1-F-647	奈良原 一高	沈黙の園(60)[王国]	1958(プリント1998)	ゼラチンシルバープリント	31.8×47.8
127	写真	1-F-648	奈良原 一高	沈黙の園(79)[王国]	1958(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	47.7×32
128	写真	1-F-649	奈良原 一高	沈黙の園(84)[王国]	1958(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	47.7×31.4
129	写真	1-F-650	奈良原 一高	沈黙の園(97)[王国]	1958(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	47.7×31.8
130	写真	1-F-651	奈良原 一高	壁の中(1)[王国]	1956~'58(プリント1998)	ゼラチンシルバープリント	47.6×31.8
131	写真	1-F-652	奈良原 一高	壁の中(3)[王国]	1956~'58(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	33.5×49.2
132	写真	1-F-653	奈良原 一高	壁の中(6)[王国]	1956~'58(プリント1977)	ゼラチンシルバープリント	19.9×28
133	写真	1-F-654	奈良原 一高	壁の中(11)[王国]	1956~'58(プリント1977)	ゼラチンシルバープリント	18×27.9
134	写真	1-F-655	奈良原 一高	壁の中(15)[王国]	1956~'58(プリント1998)	ゼラチンシルバープリント	31.5×47.8
135	写真	1-F-656	奈良原 一高	壁の中(17)[王国]	1956~'58(プリント1998)	ゼラチンシルバープリント	31.9×47.7
136	写真	1-F-657	奈良原 一高	壁の中(19)[王国]	1956~'58(プリント1998)	ゼラチンシルバープリント	31.5×47.6
137	写真	1-F-658	奈良原 一高	壁の中(23)[王国]	1956~'58(プリント1998)	ゼラチンシルバープリント	31.9×47.8
138	写真	1-F-659	奈良原 一高	壁の中(26)[王国]	1956~'58(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	31.7×47.5
139	写真	1-F-660	奈良原 一高	壁の中(27)[王国]	1956~'58(プリント1977)	ゼラチンシルバープリント	18.5×27.9
140	写真	1-F-661	奈良原 一高	壁の中(39)[王国]	1956~'58(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	47.7×31.7
141	写真	1-F-662	奈良原 一高	壁の中(42)[王国]	1956~'58(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	31.8×47.7
142	写真	1-F-663	奈良原 一高	壁の中(56)[王国]	1956~'58(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	31.7×47.7
143	写真	1-F-664	奈良原 一高	壁の中(48)[王国]	1956~'58(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	31.8×47.6
144	写真	1-F-665	奈良原 一高	壁の中(44)[王国]	1956~'58(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	48×31.8
145	写真	1-F-666	奈良原 一高	落日(1)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1983)	ゼラチンシルバープリント	33×21.6
146	写真	1-F-667	奈良原 一高	落日(2)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1983)	ゼラチンシルバープリント	22.5×33
147	写真	1-F-668	奈良原 一高	光跡(5)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	32×48

No.	種別(日)	所蔵品番号	作者名(日)	作品名(日)	制作年	技法(日)	サイズ(cm)
148	写真	1-F-669	奈良原 一高	光跡(7)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1997)	ゼラチンシルバークラウド	31.7×47.9
149	写真	1-F-670	奈良原 一高	光跡(8)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1983)	ゼラチンシルバークラウド	21.7×32.7
150	写真	1-F-671	奈良原 一高	光跡(11)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1994)	ゼラチンシルバークラウド	25.9×28.3
151	写真	1-F-672	奈良原 一高	光跡(12)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1997)	ゼラチンシルバークラウド	48×31.8
152	写真	1-F-673	奈良原 一高	光跡(13)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント2021)	ゼラチンシルバークラウド	32.6×21.6
153	写真	1-F-674	奈良原 一高	光跡(14)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1986)	ゼラチンシルバークラウド	32.8×21.8
154	写真	1-F-675	奈良原 一高	光跡(15)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1997)	ゼラチンシルバークラウド	37.6×47.9
155	写真	1-F-676	奈良原 一高	光跡(16)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1997)	ゼラチンシルバークラウド	48.1×31.4
156	写真	1-F-677	奈良原 一高	光跡(18)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1984)	ゼラチンシルバークラウド	32.7×21.8
157	写真	1-F-678	奈良原 一高	橋(20)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1997)	ゼラチンシルバークラウド	31.8×47.9
158	写真	1-F-679	奈良原 一高	橋(21)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1997)	ゼラチンシルバークラウド	31.8×47.7
159	写真	1-F-680	奈良原 一高	橋(22)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1997)	ゼラチンシルバークラウド	32×47.8
160	写真	1-F-681	奈良原 一高	橋(23)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1993)	ゼラチンシルバークラウド	22.9×34.1
161	写真	1-F-682	奈良原 一高	橋(24)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1983)	ゼラチンシルバークラウド	22.8×33.9
162	写真	1-F-683	奈良原 一高	橋(26)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1997)	ゼラチンシルバークラウド	47.9×31.8
163	写真	1-F-684	奈良原 一高	迷路(29)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1984)	ゼラチンシルバークラウド	22.8×33.9
164	写真	1-F-685	奈良原 一高	迷路(30)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1997)	ゼラチンシルバークラウド	31.8×47.8
165	写真	1-F-686	奈良原 一高	迷路(32)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1983)	ゼラチンシルバークラウド	33.1×21.8
166	写真	1-F-687	奈良原 一高	迷路(33)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1983)	ゼラチンシルバークラウド	21.9×32.8
167	写真	1-F-688	奈良原 一高	迷路(35)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1983)	ゼラチンシルバークラウド	32.6×21.9
168	写真	1-F-689	奈良原 一高	迷路(36)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1983)	ゼラチンシルバークラウド	33×21.5
169	写真	1-F-690	奈良原 一高	迷路(37)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント2021)	ゼラチンシルバークラウド	25.7×24.8
170	写真	1-F-691	奈良原 一高	迷路(38)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1997)	ゼラチンシルバークラウド	33.7×35.3
171	写真	1-F-692	奈良原 一高	迷路(39)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1997)	ゼラチンシルバークラウド	45×36.7
172	写真	1-F-693	奈良原 一高	迷路(40)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1984)	ゼラチンシルバークラウド	21.8×32.9
173	写真	1-F-694	奈良原 一高	迷路(41)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1987)	ゼラチンシルバークラウド	32.5×27.8
174	写真	1-F-695	奈良原 一高	迷路(43)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1999)	ゼラチンシルバークラウド	47.8×31.7
175	写真	1-F-696	奈良原 一高	迷路(44)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1983)	ゼラチンシルバークラウド	32.8×21.8
176	写真	1-F-697	奈良原 一高	迷路(46)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1983)	ゼラチンシルバークラウド	32.7×25.9
177	写真	1-F-698	奈良原 一高	迷路(47)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1997)	ゼラチンシルバークラウド	37.5×47.8
178	写真	1-F-699	奈良原 一高	迷路(49)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント2021)	ゼラチンシルバークラウド	32.6×21.6
179	写真	1-F-700	奈良原 一高	迷路(53)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1987)	ゼラチンシルバークラウド	25.7×37.8
180	写真	1-F-701	奈良原 一高	聖マルコ広場(56)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1983)	ゼラチンシルバークラウド	25.1×37.8

No.	種別(日)	所蔵品番号	作者名(日)	作品名(日)	制作年	技法(日)	サイズ(cm)
181	写真	1-F-702	奈良原 一高	聖マルコ広場(59)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1983)	ゼラチンシルバークラウド	32.8×21.9
182	写真	1-F-703	奈良原 一高	聖マルコ広場(60)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1987)	ゼラチンシルバークラウド	47.7×31.9
183	写真	1-F-704	奈良原 一高	聖マルコ広場(61)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1983)	ゼラチンシルバークラウド	32.9×21.9
184	写真	1-F-705	奈良原 一高	聖マルコ広場(64)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント???)	ゼラチンシルバークラウド	32.6×23.6
185	写真	1-F-706	奈良原 一高	テンペスト(65)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1983)	ゼラチンシルバークラウド	22.9×32.9
186	写真	1-F-707	奈良原 一高	テンペスト(66)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1987)	ゼラチンシルバークラウド	29.8×47.7
187	写真	1-F-708	奈良原 一高	テンペスト(67)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1983)	ゼラチンシルバークラウド	21.7×32.8
188	写真	1-F-709	奈良原 一高	テンペスト(68)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント2021)	ゼラチンシルバークラウド	32.6×21.6
189	写真	1-F-710	奈良原 一高	祝祭(69)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント2021)	ゼラチンシルバークラウド	27.2×40.7
190	写真	1-F-711	奈良原 一高	祝祭(70)[ヴェネツィアの夜]	1964-85(プリント1983)	ゼラチンシルバークラウド	21.9×33
191	写真	1-F-712	奈良原 一高	刀:平井松葉刀研師(東京都港区)[ジャパネスク]	1968(プリント1973)	ゼラチンシルバークラウド	34.5×26.6
192	写真	1-F-713	奈良原 一高	刀:栗田喜州大森流居合教士六段(水戸東武館)[ジャパネスク]	1968(プリント1973)	ゼラチンシルバークラウド	34.3×23.3
193	写真	1-F-714	奈良原 一高	刀:小沢武八段(左)宮田侯行七段新田宮流抜刀術(水戸東武館)[ジャパネスク]	1968(プリント1998)	ゼラチンシルバークラウド	22×32.9
194	写真	1-F-715	奈良原 一高	刀:宮口一貫斎恒寿刀匠(東京都豊島区)[ジャパネスク]	1968(プリント1979)	ゼラチンシルバークラウド	26.7×24.8
195	写真	1-F-716	奈良原 一高	刀:宮口一貫斎恒寿刀匠(東京都豊島区)[ジャパネスク]	1968(プリント1979)	ゼラチンシルバークラウド	26.7×24.7
196	写真	1-F-717	奈良原 一高	能:芭蕉[ジャパネスク]	1968(プリント1999)	ゼラチンシルバークラウド	25.7×26.6
197	写真	1-F-718	奈良原 一高	能:卒塔婆小町[ジャパネスク]	1968(プリント1997)	ゼラチンシルバークラウド	35.5×46
198	写真	1-F-719	奈良原 一高	禅:坐禅 境内(石川県能登)[ジャパネスク]	1969(プリント1978)	ゼラチンシルバークラウド	34×22.6
199	写真	1-F-720	奈良原 一高	禅:坐禅・僧堂内単(神奈川県鶴見)[ジャパネスク]	1969(プリント1972)	ゼラチンシルバークラウド	34.5×23.5
200	写真	1-F-721	奈良原 一高	禅:坐禅・僧堂内単(神奈川県鶴見)[ジャパネスク]	1969(プリント1978)	ゼラチンシルバークラウド	45.8×31.9
201	写真	1-F-722	奈良原 一高	禅:警策僧(神奈川県鶴見)[ジャパネスク]	1969(プリント1978)	ゼラチンシルバークラウド	33.5×45.6
202	写真	1-F-723	奈良原 一高	禅:大僧堂内単(神奈川県鶴見)[ジャパネスク]	1969(プリント1978)	ゼラチンシルバークラウド	45.7×32
203	写真	1-F-724	奈良原 一高	禅:坐禅・内単入口(神奈川県鶴見)[ジャパネスク]	1969(プリント1978)	ゼラチンシルバークラウド	32.8×23.5
204	写真	1-F-725	奈良原 一高	禅:長廊下(神奈川県鶴見)[ジャパネスク]	1969(プリント1973)	ゼラチンシルバークラウド	18.9×27.9
205	写真	1-F-726	奈良原 一高	禅:大鐘楼(神奈川県鶴見)[ジャパネスク]	1969(プリント1998)	ゼラチンシルバークラウド	45.9×30.4
206	写真	1-F-727	奈良原 一高	禅:山門楼上の五百羅漢(石川県能登)[ジャパネスク]	1969(プリント1998)	ゼラチンシルバークラウド	45.7×30.5
207	写真	1-F-728	奈良原 一高	禅:掃作務(石川県能登)[ジャパネスク]	1969(プリント1998)	ゼラチンシルバークラウド	45×31
208	写真	1-F-729	奈良原 一高	禅:僧堂内単の単・函櫃・坐蒲(神奈川県鶴見)[ジャパネスク]	1969(プリント1978)	ゼラチンシルバークラウド	45.7×31.2
209	写真	1-F-730	奈良原 一高	禅:大鐘楼(神奈川県鶴見)[ジャパネスク]	1969(プリント1978)	ゼラチンシルバークラウド	26×34
210	写真	1-F-731	奈良原 一高	禅:廻廊(神奈川県鶴見)[ジャパネスク]	1969(プリント1978)	ゼラチンシルバークラウド	23×33.9
211	写真	1-F-732	奈良原 一高	禅:大僧堂外単(神奈川県鶴見)[ジャパネスク]	1969(プリント1998)	ゼラチンシルバークラウド	45.5×29.7
212	写真	1-F-733	奈良原 一高	色(67)[ジャパネスク]	1968(プリント2000)	ゼラチンシルバークラウド	24.4×34.8

No.	種別(日)	所蔵品番号	作者名(日)	作品名(日)	制作年	技法(日)	サイズ(cm)
213	写真	1-F-734	奈良原 一高	色(71)[ジャパネスク]	1968(プリント2000)	ゼラチンシルバープリント	41×31
214	写真	1-F-735	奈良原 一高	角力:横綱大鵬(東京都両国・二所ノ関部屋)[ジャパネスク]	1979(プリント1989)	ゼラチンシルバープリント	23.7×33.1
215	写真	1-F-736	奈良原 一高	角力:優勝力士の掲額(東京都両国・国技館)[ジャパネスク]	1979(プリント1989)	ゼラチンシルバープリント	33×22.6
216	写真	1-F-737	奈良原 一高	角力:幕内土俵入り(東京都両国・国技館)[ジャパネスク]	1979(プリント1989)	ゼラチンシルバープリント	33.1×22.1
217	写真	1-F-738	奈良原 一高	角力:幕内土俵入り(東京都両国・国技館)[ジャパネスク]	1979(プリント1989)	ゼラチンシルバープリント	22×33.1
218	写真	1-F-739	奈良原 一高	角力:横綱柏戸の手形(東京都両国・伊勢ノ海部屋)[ジャパネスク]	1979(プリント1989)	ゼラチンシルバープリント	22.1×33
219	写真	1-F-740	奈良原 一高	人口湖の見えるプールサイド[消滅した時間]	1971(プリント1975)	ゼラチンシルバープリント	26.4×39.7
220	写真	1-F-741	奈良原 一高	砂漠を走る車の影[消滅した時間]	1971(プリント1975)	ゼラチンシルバープリント	26.4×39.7
221	写真	1-F-742	奈良原 一高	イリノイの長い堀[消滅した時間]	1972(プリント1976)	ゼラチンシルバープリント	30.7×46.2
222	写真	1-F-743	奈良原 一高	二つのサンタクロース[消滅した時間]	1972(プリント1975)	ゼラチンシルバープリント	32.9×49.5
223	写真	1-F-744	奈良原 一高	ホワイト・サンズの稲妻[消滅した時間]	1972(プリント1975)	ゼラチンシルバープリント	32.1×47.6
224	写真	1-F-745	奈良原 一高	二つのごみ罐—ニュー・メキシコ、1972[消滅した時間]	1972(プリント1975)	ゼラチンシルバープリント	22.8×33.9
225	写真	1-F-746	奈良原 一高	ロッキーの残雪[消滅した時間]	1971(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	33.1×47.6
226	写真	1-F-747	奈良原 一高	レイク・パウエルの水路[消滅した時間]	1971(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	31.8×47.7
227	写真	1-F-748	奈良原 一高	霊園[消滅した時間]	1972(プリント1974)	ゼラチンシルバープリント	34.1×23
228	写真	1-F-749	奈良原 一高	夏の家[消滅した時間]	1972(プリント1973)	ゼラチンシルバープリント	34.3×23.1
229	写真	1-F-750	奈良原 一高	ハイウエーテレホン[消滅した時間]	1972(プリント1975)	ゼラチンシルバープリント	26.5×39.8
230	写真	1-F-751	奈良原 一高	インディアン村のガソリンスタンド[消滅した時間]	1972(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	31.7×47.6
231	写真	1-F-752	奈良原 一高	山の中のレストラン[消滅した時間]	1972(プリント1975)	ゼラチンシルバープリント	20×25.2
232	写真	1-F-753	奈良原 一高	月夜のエアストリーム・トレーラー[消滅した時間]	1972(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	33.3×49.6
233	写真	1-F-754	奈良原 一高	夜のプール[消滅した時間]	1972(プリント1973)	ゼラチンシルバープリント	26.7×34.3
234	写真	1-F-755	奈良原 一高	ジャクリン・マスクの二人[消滅した時間]	1970(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	34.8×47.7
235	写真	1-F-756	奈良原 一高	スロットマシーン・ガール[消滅した時間]	1972(プリント1975)	ゼラチンシルバープリント	28.1×18.6
236	写真	1-F-757	奈良原 一高	虎のマスコット[消滅した時間]	1972(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	32.4×47.7
237	写真	1-F-758	奈良原 一高	岩肌の見える窓—ローラースケート場[消滅した時間]	1972(プリント1975)	ゼラチンシルバープリント	26.5×39.9
238	写真	1-F-759	奈良原 一高	フロリダのクリスマス[消滅した時間]	1972(プリント1973)	ゼラチンシルバープリント	26.3×34.1
239	写真	1-F-760	奈良原 一高	バスで過ぎる街角[消滅した時間]	1971(プリント1973)	ゼラチンシルバープリント	22.8×33.4
240	写真	1-F-761	奈良原 一高	トイレット[消滅した時間]	1971(プリント1973)	ゼラチンシルバープリント	22×33
241	写真	1-F-762	奈良原 一高	遊戯場[消滅した時間]	1972(プリント1973)	ゼラチンシルバープリント	22.7×34.2
242	写真	1-F-763	奈良原 一高	夜の道[消滅した時間]	1972(プリント1975)	ゼラチンシルバープリント	38.7×49.5
243	写真	1-F-764	奈良原 一高	グラスと太陽[消滅した時間]	1972(プリント1973)	ゼラチンシルバープリント	23.8×34.6
244	写真	1-F-765	奈良原 一高	コンミュンの窓[消滅した時間]	1972(プリント1977)	ゼラチンシルバープリント	26.6×34.4

No.	種別(日)	所蔵品番号	作者名(日)	作品名(日)	制作年	技法(日)	サイズ(cm)
245	写真	1-F-766	奈良原 一高	裸のベッド[消滅した時間]	1972(プリント1973)	ゼラチンシルバープリント	33.4×22.2
246	写真	1-F-767	奈良原 一高	モニュメント・パレー[消滅した時間]	1971(プリント1973)	ゼラチンシルバープリント	27.1×34.3
247	写真	1-F-768	奈良原 一高	壊れたウォーター・タンク[消滅した時間]	1971(プリント1974)	ゼラチンシルバープリント	22.7×34.1
248	写真	1-F-769	奈良原 一高	夜のモーテル[消滅した時間]	1972(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	32.7×47.8
249	写真	1-F-770	奈良原 一高	アリゾナの陸送車[消滅した時間]	1971(プリント1973)	ゼラチンシルバープリント	23×34.3
250	写真	1-F-771	奈良原 一高	アイススタンド[消滅した時間]	1971(プリント1973)	ゼラチンシルバープリント	26.6×34.3
251	写真	1-F-772	奈良原 一高	銀鉱の跡[消滅した時間]	撮影年不詳(プリント1974)	ゼラチンシルバープリント	22.5×34.1
252	写真	1-F-773	奈良原 一高	夜のキャンプ[消滅した時間]	1972(プリント1974)	ゼラチンシルバープリント	22.9×34.4
253	写真	1-F-774	奈良原 一高	ゴースト・シティー[消滅した時間]	1971(プリント1973)	ゼラチンシルバープリント	22.7×34.2
254	写真	1-F-775	奈良原 一高	霊柩馬車[消滅した時間]	1971(プリント1975)	ゼラチンシルバープリント	23×30.9
255	写真	1-F-776	奈良原 一高	ワシントン[消滅した時間]	1972(プリント1974)	ゼラチンシルバープリント	21.3×21.7
256	写真	1-F-777	奈良原 一高	ニューヨークの床屋[消滅した時間]	1970(プリント1974)	ゼラチンシルバープリント	26.7×31.8
257	写真	1-F-778	奈良原 一高	射撃[消滅した時間]	1972(プリント1997)	ゼラチンシルバープリント	32.1×47.8
258	写真	1-F-779	奈良原 一高	水浴[消滅した時間]	1971(プリント1975)	ゼラチンシルバープリント	34.3×22.8
259	写真	1-F-780	奈良原 一高	フォルト・リーの空き地[消滅した時間]	1971(プリント1973)	ゼラチンシルバープリント	22.7×34
260	写真	1-F-781	奈良原 一高	空き部屋[消滅した時間]	1973(プリント1985)	ゼラチンシルバープリント	47.7×32
261	写真	1-F-782	奈良原 一高	飛行機雲[消滅した時間]	1972(プリント1974)	ゼラチンシルバープリント	22.9×34.2
262	写真	1-F-783	奈良原 一高	砂に埋もれた階段[消滅した時間]	1973(プリント1973)	ゼラチンシルバープリント	22.2×33.6
263	写真	1-F-784	奈良原 一高	アポロ17号[消滅した時間]	1972(プリント1975)	ゼラチンシルバープリント	41×28.7
264	彫刻等	1-G-97	菊畑 茂久馬	奴隷系図(三本の丸太による)	1961(2016)	塗装された木材、金属、陶器、布、石	300×300×150
265	書跡	1-I-2	和田 三造	東坡五言絶句	1950	紙本墨書・掛幅装	137.7×23.9
266	書跡	1-I-3	和田 三造	圍碁十訣	1950	墨・紙	16.6×48.6
267	その他	1-K-416	高橋渡(発行)	irf 1	1940	冊子	21.5×19.7
268	その他	1-K-417	上田 宇三郎	画材	不詳	木、陶器、顔料、紙、ガラス、プラスチック	
269	写真	1-K-418	久野 久	久野久アルバム①	1940頃	アルバム	26×27
270	写真	1-K-419	久野 久	久野久アルバム②	制作年不詳	アルバム	26×27
271	版画	2-E-1635	秋山 祐徳太子	東京都立候補選挙ポスター	1975	印刷・紙	36.1×25.7
272	版画	2-E-1636	秋山 祐徳太子	東京都知事立候補ポスター	1979	印刷・紙	42×39.2
273	版画	2-E-1637	秋山 祐徳太子	東京都知事立候補ポスター	1979	印刷・紙	39.8×30
274	版画	2-E-1638	秋山 祐徳太子	選挙運動用通常葉書	1975	印刷・紙(官製はがき)	14.8×10

購入(1点) ※令和3年度に本市が公益財団法人福岡市文化芸術振興財団より購入したものを記載する。

No.	種別(日)	所蔵品番号	作者名(日)	作品名(日)	制作年	技法(日)	サイズ(cm)
1	彫刻	3-G-82	インカ・ショニバレCBE	桜を放つ女性	2019	マネキン、綿布、地球儀、銅鉄、真鍮、亜鉛合金、木、樹脂、絹	193×436×244

古美術

所蔵品番号順、研究資料は末尾に記載

購入(26件)

No.	種別	所蔵品番号	作者名・産地	作品名	時代	素材・技法	法量 (cm)
1	染織	14-Hd-413	インド	建築文様更紗裂	16世紀	木綿	縦30.3 横21.7
2	染織	14-Hd-414	インド	花文様更紗裂	18世紀	木綿	縦30.3 横21.7
3	染織	14-Hd-415	インド	インド更紗貼交布	17~19世紀	木綿	縦30.3 横21.7
4	染織	14-Hd-416	インド	インド更紗貼交布	17~19世紀	木綿	縦30.3 横21.7
5	染織	教育研究資料	インド	インド更紗貼交布	17~19世紀	木綿	縦30.3 横21.7
6	染織	教育研究資料	インド	インド更紗貼交布	17~19世紀	木綿	縦30.3 横21.7
7	染織	教育研究資料	インド	インド更紗貼交布	17~19世紀	木綿	縦30.3 横21.7
8	染織	教育研究資料	インド	花格子文様更紗裂	19世紀	木綿	縦30.3 横21.7
9	染織	教育研究資料	インド	花格子文様更紗裂	19世紀	木綿	縦30.3 横21.7
10	染織	教育研究資料	インド	花格子文様更紗裂	19世紀	木綿	縦30.3 横21.7
11	染織	教育研究資料	インド	花幾何学文様更紗裂	18世紀	木綿	縦30.3 横21.7
12	染織	教育研究資料	インド	花鋸歯文様更紗裂	18世紀	木綿	縦30.3 横21.7
13	染織	教育研究資料	インド	花唐草文様更紗裂	18世紀	木綿	縦30.3 横21.7
14	染織	教育研究資料	インド	花唐草文様更紗裂	18世紀	木綿	縦30.3 横21.7
15	染織	教育研究資料	インド	花入菱格子文様更紗裂	19世紀	木綿	縦30.3 横21.7
16	染織	教育研究資料	インド	花文様更紗腰布	19世紀	木綿	縦234.0 横107.0
17	染織	教育研究資料	インド	花文様更紗裂	18世紀	木綿	縦30.3 横21.7
18	染織	教育研究資料	インド	花文様更紗裂	18世紀	木綿	縦30.3 横21.7
19	染織	教育研究資料	インド	花文様更紗裂	18世紀	木綿	縦30.3 横21.7
20	染織	教育研究資料	インド	花文様更紗裂	18世紀	木綿	縦30.3 横21.7
21	染織	教育研究資料	インド	格子文様更紗裂	18世紀	木綿	縦30.3 横21.7
22	染織	教育研究資料	インド	幾何学文様更紗裂	18世紀	木綿	縦30.3 横21.7
23	染織	教育研究資料	インド	縞小花文様更紗裂	18世紀	木綿	縦30.3 横21.7
24	染織	教育研究資料	インド	小花文様更紗裂	18世紀	木綿	縦30.3 横21.7
25	染織	教育研究資料	インド	唐草文様更紗裂	18世紀	木綿	縦30.3 横21.7
26	染織	教育研究資料	インド	立花文様更紗裂	18世紀	木綿	縦30.3 横21.7

寄贈(7件)

No.	種別	所蔵品番号	作者名・産地	作品名	時代	素材・技法	法量 (cm)
1	絵画	14-B-78	仙厓義梵賛	釈宗順・釈妙貞夫婦像	江戸時代	絹本着色	縦66.6 横26.7 (各)
2	絵画	14-B-79	三笥英之筆 仙厓義梵賛	釈善聴像	江戸時代	絹本着色	縦78.2 横27.7
3	絵画	14-B-80	松永安左工門	富士画賛	昭和37年(1962)	紙本墨画	縦24.1 横27.1
4	絵画	14-B-81	松永安左工門	富士画賛	昭和37年(1962)	紙本墨画	縦24.1 横27.1
10	染織	23-Hd-47	織：ヨーロッパ 縫製：ベナン、マレーシア	草花星文様刺繍上衣 (バジュブンドゥック)	1920~30年代	化学繊維	丈58.5 総幅136.3
11	染織	23-Hd-48	織：ヨーロッパ 縫製：ベナン、マレーシア	内着(バジュダラム)	1920~30年代	木綿	丈58.5 総幅136.3
5	染織	23-Hd-49	織：不詳 縫製：ベナン、マレーシア	バラ文様ブラウス (バジュブンドゥック)	1920~30年代	木綿	丈58.0 総幅135.5
8	染織	23-Hd-50	織：不詳 縫製：ベナン、マレーシア	小花文様ブラウス (バジュブンドゥック)	1950~60年代カ	木綿	丈56.0 総幅133.0
9	染織	23-Hd-51	織：不詳 縫製：ベナン、マレーシア	植物文様ブラウス (バジュブンドゥック)	1950~60年代カ	木綿	丈56.0 総幅133.0
6	染織	23-Hd-52	織：不詳 縫製：ベナン、マレーシア	バラ文様ブラウス (バジュブンドゥック)	1950~60年代カ	木綿	丈58.5 総幅130.0
7	染織	23-Hd-53	ヨーロッパ	花格子文様綿オーガン ジー布地	1920~30年代	木綿	縦492.0 横74.5

図書・映像資料

図書

単位(冊)			
		和書	洋書
購入	図書	74	7
	図録	3	4
	年報・紀要	0	0
寄贈	図書	99	86
	図録	436	104
	年報・紀要	290	2
製本資料		0	0
雑誌		477	62
合計		1,379	265
総計		1,644	

映像資料

単位(点)		
購入	CD	0
	DVD	0
寄贈	CD	0
	DVD	2
合計		2

修復

近現代美術

種別	所蔵品番号	産地(作者)	作品名	法量(cm)	制作年	品質	数量
絵画	3-A-30	マーク・ロスコ	無題	175.6×137.8×3.7	1961	油彩・画布	1
絵画	7-A-82	和田 三造	博多繁昌の図 (習作)	46.4×36.4	1952-58	油彩・画布	1
絵画	1-B-227	上田 宇三郎	静物	45.2×53.0	1953	紙本着色	1
絵画	1-B-228	上田 宇三郎	風景	45.0×51.7	1951頃	紙本墨画	1

古美術

種別	所蔵品番号	産地(作者)	作品名	法量(cm)	制作年	品質	数量
彫刻	5-G-9	佐田湛澄	弘法大師像	高52.0	江戸時代	木造彩色	1躯

貸出

近現代美術

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
彫刻等	朝倉 文夫	墓守	1-G-1	1964—福岡県文化会館、誕生。	福岡県立美術館	令和3年7月23日(金・祝)～9月2日(木) ※福岡コロナ特別警報および緊急事態宣言の発出に伴う臨時休館のため、8月5日(木)に閉幕
油彩等	菊畑 茂久馬	ルーレット No.1	1-A-197			
版画	浜田 知明	現代の長城	1-E-328			
油彩等	松井 源右衛門	炭坑の人々	1-A-264			
彫刻等	宮崎 準之助	題不詳	1-G-24			
油彩等	藤島 武二	イタリア婦人像	1-A-243	藤島武二と猪熊弦一郎展 サンプリシテとシンプル	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	令和3年9月18日(土)～12月5日(日)
油彩等	桂 ゆき	作品	1-A-174	府中市美術館 開館20周年記念「動物の絵 日本とヨーロッパ ふしぎ・かわいい・へそまがり」展	府中市美術館	令和3年9月18日(土)～11月28日(日)
油彩等	黒田 清輝	婦人像	1-A-37	「白馬、翔びたつ—黒田清輝と岡田三郎助—」	佐賀県立美術館	令和3年9月7日(火)～10月17日(日)
油彩等	ルイ=ジョゼフ=ラファエル・コラン	若い娘	3-A-2			
油彩等	糸園 和三郎	顔の列	1-A-18	「生誕110年記念 糸園和三郎展 ～魂の祈り、沈黙のメッセージ～」・「生誕110年記念 糸園和三郎展 ～帰郷、静謐なる詩情とともに～」	大分県立美術館、中津市歴史博物館	大分会場：令和3年9月18日(土)～10月31日(日) 中津会場：令和3年11月20日(土)～令和4年1月10日(月・祝)
油彩等	糸園 和三郎	地の中の蟻	1-A-19			
油彩等	糸園 和三郎	無花果(葉)	1-A-20			
油彩等	糸園 和三郎	無花果(実)	1-A-21			
油彩等	海老原 喜之助	走馬燈	1-A-349	海老原美術研究所設立70周年記念 エビハラがいた時代	熊本県立美術館	令和4年2月25日(金)～3月30日(水)
油彩等	海老原 喜之助	花ぬす人	1-A-257			
油彩等	海老原 喜之助	白い鳥・黒い鳥	1-A-289			

古美術

種別	産地(作者)	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
其他		法螺貝(北条白貝)	4-Hf-172	企画展示「天下取りと黒田孝高・長政」	福岡市博物館	令和3年7月6日(火)～9月5日(日)
金工		金銀鍍透彫華籠	6-Hc-7	日本博「紡ぐプロジェクト 特別展「京の国宝—守り伝える日本のたから—」	京都国立博物館 平成知新館	令和3年7月24日(土)～9月12日(日)

種別	産地(作者)	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
絵画	土佐光起	源氏物語図屏風	11-B-10	「土佐派と住吉派 其の二—やまと絵の展開と流派の個性—」	和泉市久保徳記念美術館	令和3年9月12日(日)～11月7日(日)
絵画	狩野探幽筆、沢庵宗彭賛	宗英公(忠之)像	4-B-48	府中市美術館 開館20周年記念「動物の絵 日本とヨーロッパ ふしぎ・かわいい・へそまがり」展	府中市美術館	令和3年9月18日(土)～11月28日(日) 前期 9月18日(土)～10月24日(日) 後期 10月26日(火)～11月28日(日)
絵画	仙厓義梵	犬図	9-B-7			
絵画	仙厓義梵	双狗図	24-B-27			
絵画		春日社寺曼荼羅図	6-B-14	特別展「春日神霊の旅—杉本博司 常陸から大和へ—」	神奈川県立金沢文庫	令和4年1月29日(土)～3月21日(月・祝)
絵画		文殊菩薩騎獅像	6-B-16			
書跡	明恵	夢記切	6-I-15			
漆工		黒漆平文唐櫛笥 台共	6-Hb-1			
金工		線刻十一面観音鏡像	6-Hc-18			
漆工		青貝螺鈿春日卓(黒漆螺鈿卓)	6-Hb-12			

広報業務

ホームページとSNSの運用

美術館の概要や展示、イベント等をホームページで紹介するほか、SNS(ツイッター、フェイスブック、インスタグラム)を活用した情報発信を積極的に行った。

- 福岡市美術館ホームページ <https://www.fukuoka-art-museum.jp/>
- 福岡市美術館ツイッター https://twitter.com/fukuoka_fam
- 福岡市美術館フェイスブック <https://www.facebook.com/fukuokaartmuseum/>

令和2年度ホームページ閲覧数、SNSフォロワー数

ホームページ閲覧数	ツイッター フォロワー数	フェイスブック フォロワー数	インスタグラム フォロワー数
2,483,028	8,617人	5,862人	10,482人

プレスリリースなどによる広報

テレビ、新聞、美術出版社、タウン情報誌等の各種メディアに対してプレスリリースを配信。観覧者誘致に向けた取り組みを行う。各種メディアへの情報提供延べ件数/8,140件

イベントの実施

緑溢れる大濠公園に位置する当館の魅力を最大限に活用し、多くの市民や観光客が楽しめるミュージアムイベントを年間を通じて実施し、美術以外の入口からも美術館を訪れる人々の賑わいを創出。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じながら、コンサートを始め、落語会や演劇などの催しを実施した。

実施事業		実施日	会場	参加人数
第11回 桂春蝶独演会	落語会	令和3年5月29日(土)	ミュージアムホール	72人
		令和3年5月30日(日)		76人
Crossover night 2021 - featuring 奥村愛	コンサート	令和3年11月2日(火)	ミュージアムホール	155人
奥村愛の親子で遊ぼう「はじめてクラシック」	コンサート	令和3年11月3日(水・祝)	ミュージアムホール	延べ2回公演 計136人
花とピアノの響宴	コンサート	令和3年11月21日(日)	ミュージアムホール	延べ2回公演 計338人
万能グローブガラハコスダイナモス 第28回公演「バ・グガハラヌ」	演劇	令和3年12月1日(水)	ミュージアムホール	85人
		令和3年12月2日(木)		154人
		令和3年12月3日(金)		89人
		令和3年12月4日(土)		261人

カフェ・レストラン

1階と2階には、ホテルニューオータニ博多が運営するカフェ「アクアム」と、レストラン「プルヌス」があり、特別展開催期間中は、特別展コラボメニューの提供も行っている。

カフェ「アクアム」

アプローチ広場横にあるガラス張りのカフェでは、きらめく水面を眺めながら軽食やドリンクを楽しめる。朝食にぴったりのパンやコーヒー、サンドウィッチ等のランチメニュー、ケーキやソフトクリーム、アルコールやオードブルを取りそろえ、時間帯や目的によって好みのアイテムを選択できる。

営業時間/9:00~19:00(ラストオーダー18:30)
※7月~10月の金・土曜日は9:00~20:00
(ラストオーダー19:30)

席数/58席



レストラン「プルヌス」

当館で最も眺めのいい位置にあるレストランでは、大濠公園やエスプラナードを一望できる。地元食材を使った料理を中心に、和食・洋食のランチ、夕日や夜景とともに味わうワイン、週末限定のランチ等多彩なメニューを提供。また、展覧会とのコラボレーションメニューも実施している。

営業時間/平日 11:00~20:30(ラストオーダー19:30)
土・日・祝 9:30~20:30(ラストオーダー19:30)

席数/84席



ミュージアムショップ

1階エントランスロビーにあるミュージアムショップでは、当館の所蔵品をモチーフにしたオリジナルグッズやレプリカをはじめ、展覧会図録、地元クリエイターによるグッズ、高取焼や博多織、博多人形などの伝統工芸品などを販売。福岡を訪れた記念や贈り物におすすめの商品も取りそろえる。

営業時間／9：30～17：30
※7月～10月の金・土曜日は9：30～20：00

オリジナル商品

博多人形工房の中村人形が制作・監修した気軽に人形の絵付け体験が楽しめる素焼きの博多人形《MASTER ROAD》、博多人形師の小副川太郎氏監修の福岡市美術館所蔵品モチーフの福かぶり猫《仙厓の虎図・フジタの猫》の他、当館のマスコットで開館以来、着実にファンを増やしている《こぶうしくん》グッズなどを取り扱う。

認定商品/101点、35品目(令和3年3月末)



展示室

4月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	曜	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	祝
特別展示室	第52回 福岡市美術展 観覧者数：1,179人					—							西日本新聞書道之友展 2021 観覧者数：2,868人							—					—	高畑勲展 観覧者数： 905人					
ギャラリーA	第52回 福岡市美術展 観覧者数：890人					CHIKAPPART 観覧者数：431人							佐伯和子の絵画展& オリジナルジュエリー展 観覧者数：542人							グループ虹 観覧者数：463人					澤野森都 写真展 観覧者数：259人						
ギャラリーB						3人の画家たち展 観覧者数：243人																									
ギャラリーC											遊美塾福岡 写真展 観覧者数：653人									第3回 博多を描く会展 観覧者数：354人											
ギャラリーD						イワミズ アサコ 個展 観覧者数：160人																									
ギャラリーE						アートヒーリング展 観覧者数：123人					鄭 琪満 作陶展 観覧者数：206人					桑沢デザイン 研究所同窓会 九州支部展 観覧者数：236人															
ギャラリーF						エロスの肖像!! 観覧者数：260人					—							第61回西日本フォト コンテスト 入賞作品展 観覧者数：856人					自然と彫刻が 好きな人たち 観覧者数：213人								

5月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	土	日	月	火	水	祝	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
特別展示室	高畑勲展 観覧者数：2,658人					高畑勲展 観覧者数： 987人							高畑勲展 観覧者数：824人							高畑勲展 観覧者数：768人					高畑勲展 観覧者数：960人							
ギャラリーA	澤野森都写真展 観覧者数：343人					青木茂幸 切り絵作品展 観覧者数：157人							第74回 示現会展 観覧者数：1,050人							—					—							
ギャラリーB	3人の画家たち展 観覧者数：257人					—														—					—							
ギャラリーC	第3回 博多を描く会展 観覧者数：362人					「KAKERU」 ～おとな美術部 課外活動～ 観覧者数：160人														—					—							
ギャラリーD	イワミズ アサコ 個展 観覧者数：235人					—														—					—							
ギャラリーE	桑沢デザイン 研究所同窓会 九州支部展 観覧者数：305人					—														—					—							
ギャラリーF	自然と彫刻が 好きな人たち 観覧者数：351人					とりの メウオのメ 観覧者数： 136人														—							—					

6月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
特別展示室	高畑勲展 観覧者数：1,051人				高畑勲展 観覧者数：1,504人				高畑勲展 観覧者数：1,738人				高畑勲展 観覧者数：2,085人				高畑勲展 観覧者数：551人														
ギャラリーA	—				—				—				—				第3回 MOP あーと展 観覧者数：198人														
ギャラリーB	—				—				—				—				—														
ギャラリーC	—				—				—				—				—														
ギャラリーD	—				—				—				第117回太平洋展・ 第56回太平洋西日本展 観覧者数：1,645人				—														
ギャラリーE	—				—				—				—				趣味で始めた 水彩画 水彩画13人展 観覧者数：195人														
ギャラリーF	—				—				—				—				リベルテ113 20周年記念 絵画展 観覧者数：207人														

7月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
特別展示室	高畑勲展 観覧者数：2,062人				高畑勲展 観覧者数：3,241人				高畑勲展 観覧者数：4,674人				—				—															
ギャラリーA	第3回 MOP あーと展 観覧者数：383人				—				—				「ジュエリーのこれから」 展2021 観覧者数：498人				第20回 健筆会書作展 観覧者数：199人															
ギャラリーB	—				—				—				—				—															
ギャラリーC	—				—				—				—				四季のいろ 観覧者数：337人															
ギャラリーD	—				—				令和3年度第35回 福岡県高文連 福岡地区 美術・工芸展 観覧者数：778人				—				—															
ギャラリーE	趣味で始めた 水彩画 水彩画展 観覧者数：403人				七隈カルチャーセンター 近藤えみ 教室 観覧者数：324人				—				かしい三道写真展 観覧者数：229人				斎藤モトイ写真展 観覧者数：229人															
ギャラリーF	リベルテ113 20周年記念 絵画展 観覧者数：487人				九州産業大学芸術学部 進藤研究室写真展 観覧者数：520人				—				第37回 観生会展 観覧者数：411人				ARS写真クラブ 作品展 観覧者数：293人															

8月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
特別展示室	—				キングダム展-信- 観覧者数：5,877人				キングダム展-信- 観覧者数：3,591人				キングダム展-信- 観覧者数：3,170人				キングダム展-信- 観覧者数：2,515人				キングダム展-信- 観覧者数：273人											
ギャラリーA	—				—				—				—				—				—											
ギャラリーB	—				—				—				—				—				—											
ギャラリーC	—				—				—				—				—				—											
ギャラリーD	—				—				—				—				—				—											
ギャラリーE	—				—				—				—				—				—											
ギャラリーF	—				—				—				—				—				—											

9月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
特別展示室	キングダム展-信- 観覧者数：1,926人				キングダム展-信- 観覧者数：3,041人				キングダム展-信- 観覧者数：5,336人				キングダム展-信- 観覧者数：6,578人				—														
ギャラリーA	—				—				—				フォトクラブ四季彩写真展 観覧者数：397人				サンフォト倶楽部 写真展 観覧者数：268人				青像 グループ展 観覧者数：114人										
ギャラリーB	—				—				—				—				—				—										
ギャラリーC	—				—				—				—				遺作展 夫(水口政夫)の残したもの 観覧者数：617人				令和3年 景柳会 書道作品展 観覧者数：660人				「曹亜綱 水墨芸術学院」 30周年記念展 観覧者数：221人						
ギャラリーD	—				—				—				—				—				—										
ギャラリーE	—				—				—				—				仏師 江口泰観 仏像彫刻展 観覧者数：277人				清藤なつえ 個展「うたかた」 観覧者数：75人										
ギャラリーF	—				—				—				—				野口正幸絵画教室 生徒作品展 観覧者数：478人				有田焼 新作展示会 観覧者数：150人				前田信幸 土彩展 観覧者数：151人						

10月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
特別展示室										没後50年 電力王・松永 安左工門の茶 観覧者数: 339人																							
ギャラリーA																																	
ギャラリーB																																	
ギャラリーC																																	
ギャラリーD																																	
ギャラリーE																																	
ギャラリーF																																	

12月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
特別展示室																																	
ギャラリーA																																	
ギャラリーB																																	
ギャラリーC																																	
ギャラリーD																																	
ギャラリーE																																	
ギャラリーF																																	

11月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	曜	月	火	水	祝	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
特別展示室																																	
ギャラリーA																																	
ギャラリーB																																	
ギャラリーC																																	
ギャラリーD																																	
ギャラリーE																																	
ギャラリーF																																	

1月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	曜	土	祝	日	月	火	水	木	金	土	日	月	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
特別展示室																																	
ギャラリーA																																	
ギャラリーB																																	
ギャラリーC																																	
ギャラリーD																																	
ギャラリーE																																	
ギャラリーF																																	

2月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
	曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	祝	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	祝	木	金	土	日
特別展示室	ゴッホ展 観覧者数：18,122人							ゴッホ展 観覧者数：26,764人							—							—								
ギャラリーA	ファインアート展 観覧者数：1,152人							第71回 福岡市中学校美術展 観覧者数：5,879人							九州産業大学 造形短期大学部 第53回卒業制作展、 九州産業大学 造形短期大学部および 福岡市立博多工業高等 学校との合同卒業制作展 観覧者数：932人							第62回 福岡大学美術部展 観覧者数：253人								
ギャラリーB																														
ギャラリーC																														
ギャラリーD																														
ギャラリーE																						坂本かな絵画展 観覧者数：368人								
ギャラリーF																						福岡教育大学大学院 美術教育領域修士制作展 観覧者数：392人								

3月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																	
	曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木																
特別展示室	—							第74回二紀展 福岡巡回展 観覧者数：2,210人							—							—																											
ギャラリーA	第2回 福岡日展会作品展 観覧者数：1,749人							デジタルアート展 観覧者数：650人							メモリーパッチワーク スクール作品展 観覧者数：1,028人							第53回 福岡市美術展 観覧者数：1,574人							第53回 福岡市 美術展 観覧者数： 915人																				
ギャラリーB																																				趣味で始めた水彩画16人展 観覧者数：991人													
ギャラリーC																																																	
ギャラリーD																																																	
ギャラリーE																																				猫 観覧者数：349人							イワモトチアキ個展 観覧者数：550人						
ギャラリーF																																				九州大学書道部 創部60周年記念書展 観覧者数：330人							Freestyle Photo Club 巡回展 観覧者数：731人						

ミュージアムホール等

	ミュージアムホール		アートスタジオ		レクチャールーム		アプローチ広場		ロビー		エスプラナード		合計	
	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件	利用者数	利用件数	利用者数
4月	8	709	9	93	17	194	1	18	0	0	1	130	36	1,144
5月	3	199	3	20	3	25	1	4,700	0	0	0	0	10	4,944
6月	6	486	4	53	4	44	0	0	0	0	0	0	14	583
7月	11	889	12	121	17	196	0	0	2	9	0	0	42	1,215
8月	2	120	4	120	5	112	1	0	0	0	0	0	12	352
9月	4	360	0	0	4	41	2	6,200	1	3	0	0	11	6,604
10月	6	301	8	180	14	171	0	0	1	10	0	0	29	662
11月	11	1,611	5	52	11	159	7	5,718	0	0	1	500	35	8,040
12月	16	1,515	12	264	12	231	0	0	0	0	0	0	40	2,010
1月	9	729	11	96	12	167	0	0	0	0	0	0	32	992
2月	8	550	5	54	11	161	0	0	0	0	0	0	24	765
3月	7	560	7	115	15	227	1	1	0	0	0	0	30	903
合計	91	8,029	80	1,168	125	1,728	13	16,647	3	12	2	630	315	28,214

令和3年度月別観覧者数

室名	コレクション展		特別展		貸館展		総数	
	開催日数(日)	観覧者数(人)	開催日数(日)	観覧者数(人)	開催日数(日)	観覧者数(人)	開催延べ日数(日)	観覧者数(人)
4月	26	3,744	2	905	86	9,927	114	14,576
5月	9	2,351	26	6,197	45	3,356	80	11,904
6月	8	1,364	26	6,929	12	2,245	46	10,538
7月	27	5,893	16	9,977	68	5,091	111	20,961
8月	7	1,171	0	0	36	15,959	43	17,130
9月	15	1,658	0	0	78	20,289	93	21,947
10月	27	5,734	20	3,045	84	8,982	131	17,761
11月	25	9,056	18	3,558	81	9,511	124	22,125
12月	23	5,977	6	14,907	56	6,989	85	27,873
1月	23	20,731	25	69,500	114	10,761	162	100,992
2月	24	16,696	12	44,886	36	8,976	72	70,558
3月	27	5,571	0	0	66	11,077	93	16,648
合計	241	79,946	151	159,904	762	113,163	1,154	353,013

美術館協議会委員

50音順・敬称略・肩書きは令和3年度のもの
任期 令和3年3月1日から令和5年2月28日まで

会長	浦上 雅司	福岡大学人文学部教授
副会長	植野 かつり	立花家史料館館長
学校教育関係者	片山 寛詞	福岡市立春吉中学校校長
	藤野 健一	福岡市立北崎小学校校長
社会教育関係者	尾石 静雄	福岡市公民館館長会副会長(西区姪浜公民館館長)
	篠隈 明美	福岡市七区男女共同参画協議会代表(南区男女共同参画連絡会会長)
	松尾 さち	社会福祉法人JOY 明日への息吹JOY倶楽部職業(美術)指導員
家庭教育関係者	重永 侑紀	特定非営利活動法人 子どもNPOセンター福岡 代表理事
学識経験者	李 善姬	韓国語講師
	黒岩 俊哉	九州産業大学芸術学部教授/学部長
	千 相哲	九州産業大学副学長
	山内 光枝	美術家・映像作家
	山内 泰	NPO法人ドネルモ代表理事

収集審査員

(50音順・敬称略・肩書きは令和3年度のもの)

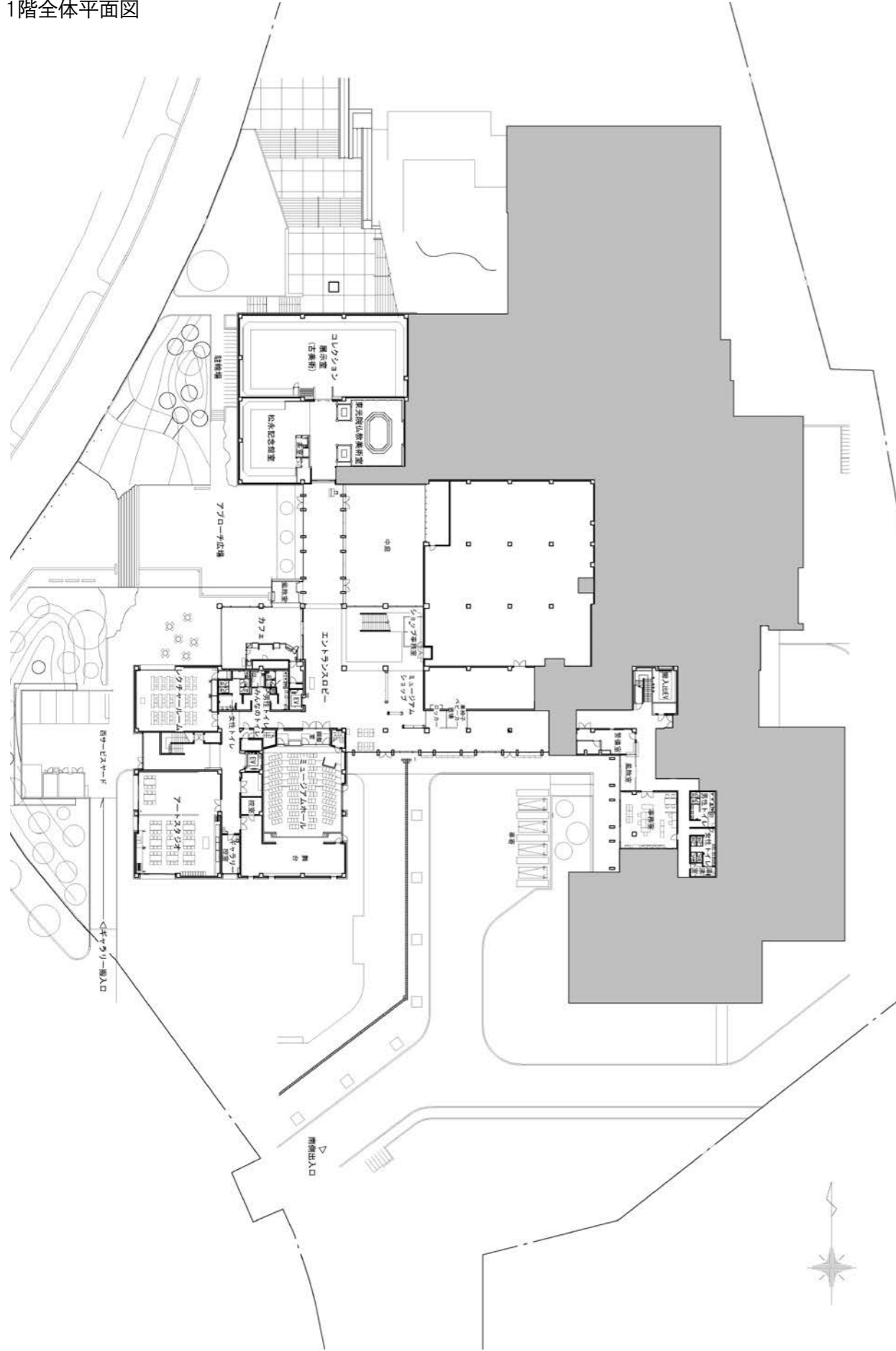
近現代美術	島 敦彦	国立国際美術館館長
	魚里 洋一	福岡県立美術館副館長
	大日方 欣一	九州産業大学芸術学部 写真・映像メディア学科教授
古美術	植野 かつり	立花家史料館館長
	原田 あゆみ	九州国立博物館学芸部文化財課長
	川村 佳男	九州国立博物館学芸部企画課文化交流展室長

職員

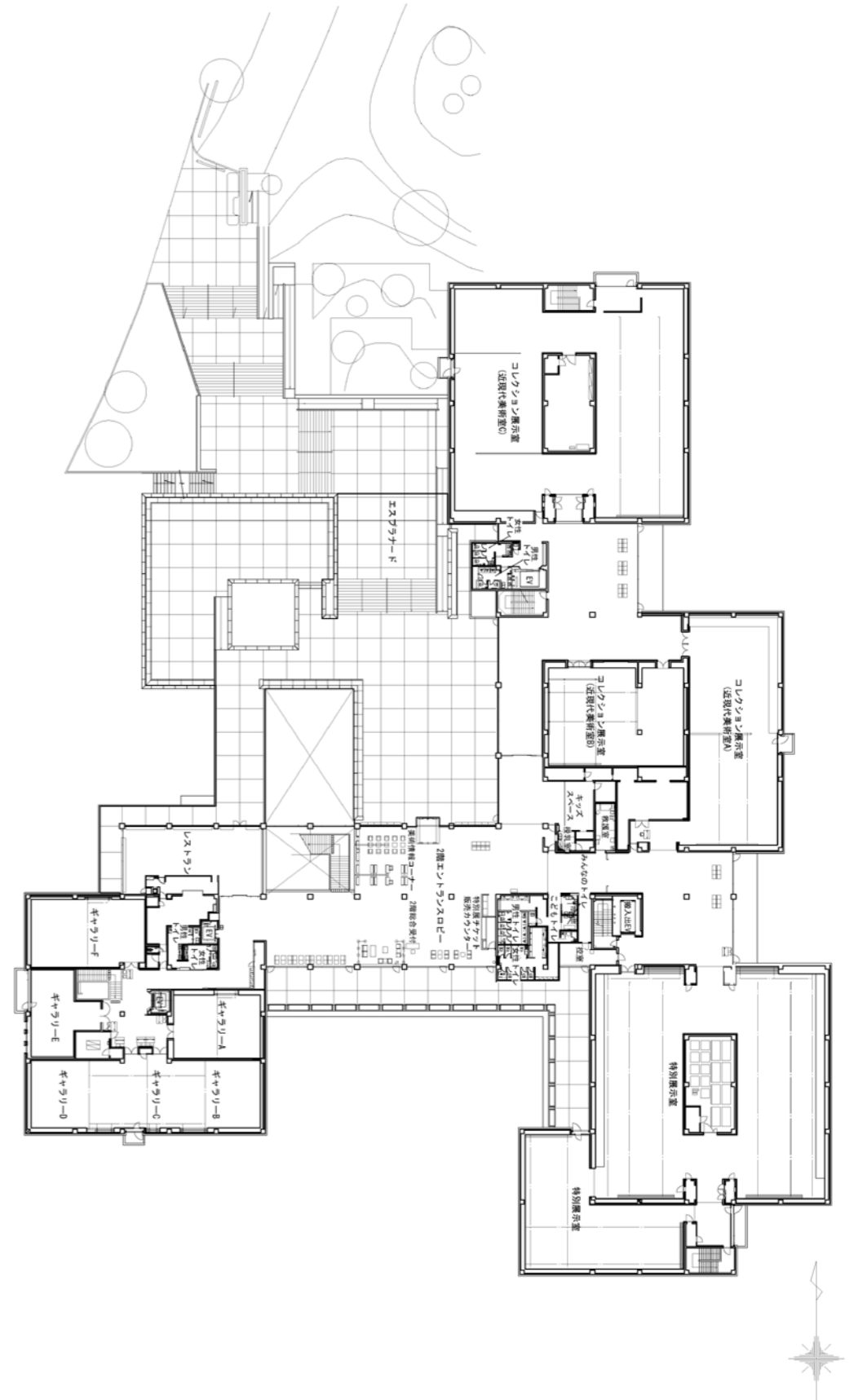
総館長	中山 喜一郎
館長	岩永 悦子
事業管理課長	金子 りか
事業管理係長	高木 啓
	鍋嶋 淳史(～R3.10.12)
	道下 志保(R3.4.15～)
	長嶋 みゆき(R3.10.13～)
学芸課長	美術館長事務取扱
学芸係長	山口 洋三
	正路 佐知子
	渡抜 由季
	忠 あゆみ
主任学芸主事	鬼本 佳代子
	崎田 明香
主任学芸主事	後藤 恒
	宮田 太樹
会計年度任用職員	田實 智子
会計年度任用職員	徳永 昭夫
会計年度任用職員	中務 美紀
会計年度任用職員	中原 千代子
会計年度任用職員	上野 真歩

資 料

福岡市美術館
1階全体平面図



福岡市美術館
2階全体平面図



- 美術館に美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。
- 協議会は、美術館及び福岡アジア美術館条例（平成10年福岡市条例第47号）により設置された福岡アジア美術館の運営に関し、それぞれの館長の諮問に応じるとともに、これらの館長に対して意見を述べるものとする。
 - 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから任命するものとする。
 - 協議会の委員の定数は、20人以内とする。
 - 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
 - 協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。
- （平成10条例47・平成24条例38・一部改正）

（委任）

第18条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

（施行期日）

- この条例の施行期日は、教育委員会規則で定める。
- （昭和54年教規則第11号により昭和54年11月3日から施行）
- （福岡市美術館条例の廃止）
- 福岡市美術館条例（昭和53年福岡市条例第37号）は、廃止する。
- （施行日前における許可等）

- 第1項の規定に基づく教育委員会規則が公布されたときは、この条例の施行の日前においても、この条例の施行の日以後の美術館の利用について教育委員会規則で定めるところにより利用の許可をし、及び使用料を徴収することができる。
- 附 則（昭和59年3月29日条例第41号）
- （施行期日）

- この条例は、昭和59年4月1日から施行する。
- （経過措置）
- この条例による改正後の福岡市美術館条例別表第2の規定にかかわらず、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に施行日以後の展示室及び講座室等の利用について許可を受け、当該利用に係る使用料を納付している者の当該使用料の額については、なお従前の例による。
- 附 則（平成元年3月31日条例第34号）
- （施行期日）

- この条例は、平成元年4月1日から施行する。
- （経過措置）
- この条例による改正後の福岡市美術館条例別表第2の規定にかかわらず、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に施行日以後の展示室及び講座室等の利用について許可を受け、当該利用に係る使用料を納付している者の当該使用料の額については、なお従前の例による。
- 附 則（平成7年3月9日条例第44号）
- （施行期日）

- この条例は、平成7年5月1日から施行する。
- （経過措置）
- この条例による改正後の福岡市美術館条例別表第2の規定にかかわらず、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に施行日以後の展示室及び講座室等の利用について許可を受け、当該利用に係る使用料を納付している者の当該使用料の額については、なお従前の例による。
- 附 則（平成10年10月1日条例第47号）抄
- （施行期日）
- この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。

- （平成10年教委規則第7号により平成11年1月1日から施行）
- 附 則（平成14年3月28日条例第38号）
- この条例は、平成14年4月1日から施行する。
- 附 則（平成24年3月29日条例第38号）
- この条例は、平成24年4月1日から施行する。
- 附 則（平成30年3月29日条例第40号）
- （施行期日）

- この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。
- （平成30年教委規則第14号により平成31年3月21日から施行）
- （施行日前における利用の許可等）
- 前項の規定に基づく教育委員会規則が公布されたときは、この条例の施行の日前においても、同日以後の美術館（この条例による改正後の福岡市美術館条例（以下「改正後の条例」という。）別表第2に掲げる施設に限る。）の利用について、改正後の条例の規定の例により許可をし、及び使用料を徴収することができる。

別表第1

- （平成元条例34・平成14条例38・一部改正）

区分		金額	
		個人	20人以上の団体
常設展示観覧	一般	200円	1人につき 150円
	大学生・高校生	150円	1人につき 100円
特別展示観覧		1人につき2,000円以内で教育委員会が定める額	

備考

- 常設展示観覧とは、美術館が平常的に展示する美術作品等の観覧をいい、特別展示観覧とは、美術館が特別に展示する美術作品等の観覧をいう。
- 一般とは、大学生・高校生及び中学生以外のもので15歳以上のものをいい、大学生・高校生とは、大学、高等専門学校、高等学校、専修学校、各種学校又はこれらに準ずるものに在学する者をいう。

別表第2

- （昭和59条例41・平成元条例34・平成7条例44・平成30条例40・一部改正）

- 展示室使用料

区分	単位	金額(円)
特別展示室		36,600
ギャラリー	A	3,700
	B	2,700
	C	3,700
	D	2,700
	E	2,700
	F	4,600

- ホール等使用料

区分	単位	金額(円)
レクチャールーム		1,100
アートスタジオ	1時間につき	2,200
ミュージアムホール		2,200

- ロビー等使用料

区分	単位	金額(円)
ロビー	1日1平方	200
エスプラナード	メートルにつき	200
アプローチスペース		200

備考

- 許可利用者が入館者から入場料を徴収する場合の使用料の額は、この表の金額の2倍の額とする。
- 使用料の算定に当たつて用いる日数又は時間数に1日又は1時間未満の端数があるときは、当該端数をそれぞれ1日又は1時間とみなす。
- ギャラリーB又はギャラリーDに係る許可利用者は、ギャラリーCの一部について第5条第1項の許可を受けることができるものとする。この場合において、ギャラリーCに係る使用料の額は、この表の金額に2分の1を乗じて得た額とする。
- 付属設備の使用料の額は、教育委員会規則で定める。

別表第3

- （平成30条例40・追加）

区分	単位	金額(円)
普通自動車	1台1回につき	200
準中型自動車	1時間までごとに	200
中型自動車	1台1回につき	2,000
大型自動車	1日までごとに	2,000

備考 普通自動車とは道路交通法（昭和35年法律第105号）第3条に規定する普通自動車を、準中型自動車とは同条に規定する準中型自動車を、中型自動車とは同条に規定する中型自動車を、大型自動車とは同条に規定する大型自動車をいう。

○福岡市美術館条例施行規則

- 昭和54年7月2日
教育委員会規則第12号
改正 昭和59年3月31日教規則第3号
昭和61年3月31日教規則第2号
昭和63年3月31日教規則第15号
平成元年3月31日教規則第9号
平成3年3月28日教規則第7号
平成5年3月29日教規則第1号
平成5年3月29日教規則第8号
平成5年6月28日教規則第13号
平成6年3月31日教規則第13号
平成7年3月30日教規則第17号
平成8年3月28日教規則第7号
平成9年3月31日教規則第5号
平成12年3月30日教規則第1号
平成14年3月28日教規則第10号
平成14年7月1日教規則第12号
平成17年3月31日教規則第9号
平成17年7月14日教規則第12号
平成18年10月30日教規則第9号
平成19年3月29日教規則第8号
平成19年6月28日教規則第10号
平成22年3月29日教規則第2号
平成24年3月29日教規則第8号
平成27年10月8日教規則第18号
平成29年3月30日教規則第6号
平成30年3月29日教規則第5号
平成30年10月1日教規則第15号

（趣旨）

第1条 この規則は、福岡市美術館条例（昭和54年福岡市条例第38号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条及び第3条 削除

- （平成24教規則8）

（職員）

第4条 福岡市美術館（以下「美術館」という。）に館長及び学芸課長を置く。

2 前項の職員のほか、特に必要なときは、その他の職員を置くことができる。

3 館長及び学芸課長は、職員のうちから命じる。

4 館長は、上司の命を受けて、美術館の事務を統理し、所属職員を指揮監督する。

5 学芸課長は、上司の命を受けて、美術館の事務を掌理し、及び処理する。

6 その他の職員は、上司の命を受けて分担する事務を処理する。

- （平成24教規則8・全改）

（職務権限の代行）

第5条 館長に事故がある場合又は館長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、学芸課長が館長の職務権限を代理して行う。ただし、重要又は異例な事務については、教育次長の指揮を受けなければならない。

2 前項の規定により、館長の職務権限を代理して行う者がないときは、館長の職務権限は、教育次長が行う。

- （平成24教規則8・一部改正）

（開館時間）

第6条 美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時30分まで（毎年7月から10月までの間の各月の金曜日及び土曜日（以下「特

例日」という。)においては、午後8時まで)とする。ただし、入館は、午後5時まで(特例日においては、午後7時30分まで)とする。

2 次の各号に掲げる施設の供用時間は、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 条例別表第2 2 ホール等使用料の表に掲げる施設 午前9時30分から午後9時まで

(2) 駐車場 午前9時から午後9時まで

3 前2項の規定にかかわらず、教育長が必要と認める場合は、開館時間又は前項第1号の施設の供用時間(以下「開館時間等」という。)を変更することができる。

(平成5教規則13・平成9教規則5・平成30教規則5・平成30教規則15・一部改正)

(休館日)

第7条 美術館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。ただし、教育長が必要と認める場合は、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

(1) 毎週月曜日(その日が休日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日をいう。以下同じ。)に当たるときは、その日後において最初の休日でない日)

(2) 12月28日から翌年1月4日まで

(平成9教規則5・平成17教規則9・平成30教規則15・一部改正)

(展示室等の利用)

第8条 条例第5条第1項の規定により美術館の施設の利用の許可を受けようとする者は、福岡市美術館施設利用許可申請書(様式第1号)により教育長に申請しなければならない。

2 前項の申請は、展示室については、利用しようとする日が1月1日から6月30日までの間である場合にあっては、当該利用しようとする日の属する年の前年の7月31日までに、7月1日から12月31日までの間である場合にあっては、当該利用しようとする日の属する年の1月31日までに行わなければならない。ただし、教育長が必要と認める場合は、この限りでない。

(平成30教規則5・一部改正)

(利用の許可)

第9条 教育長は、美術館の施設の利用を許可したときは、福岡市美術館施設利用許可書(様式第2号)を交付するものとする。

(利用の取止め)

第10条 美術館の施設の利用の許可を受けた者(以下「許可利用者」という。)が、利用の取止めをしようとする場合には、あらかじめ福岡市美術館施設利用取止め届(様式第3号)を教育長に提出しなければならない。

(平成30教規則5・一部改正)

(図書の利用)

第11条 美術館の図書の利用に関し必要な事項については、館長が別に定める。

(利用時間)

第12条 美術館の利用時間には、準備及び後片付けに要する時間を含むものとする。

(開館時間等以外の利用)

第13条 美術館の開館時間等以外及び休館日の利用は、美術館の運営上支障がない場合にのみ許可する。

(平成30教規則5・一部改正)

(撮影等の許可)

第14条 条例第11条第1項の規定により美術作品その他の美術に関する資料(以下「美術作品等」という。)の撮影、模写、模造等(以下「撮影等」という。)の許可を受けようとする者は、撮影等許可申請書(様式第4号)により館長に申請しなければならない。

2 館長は、前項の許可をしたときは、撮影等許可書(様式第5号)

を交付するものとする。

3 撮影等の許可は、観覧者の観覧に支障がなく、かつ、美術作品等の管理上支障がないと認められる場合にのみ許可するものとする。

(平成24教規則8・一部改正)

(入館者及び許可利用者の心得)

第15条 美術館の入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 建物、付属設備又は美術作品等その他の備品を汚損し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。

(2) 他の入館者に迷惑をかけないこと。

(3) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。

(4) 危険物又は動物を持ち込まないこと。

(5) 許可なくして物品を販売し、又は展示しないこと。

(6) 館内を不潔にしないこと。

(7) 許可なくして美術作品等の撮影又は模写をしないこと。

(8) 施設、設備等の利用を終えたときは、これを原状に復すこと。

(9) 所定の場所以外に出入りしないこと。

(10) 前各号に掲げるもののほか、管理上の必要から美術館の管理の業務に従事する者が行う指示又は指導に従うこと。

2 許可利用者は、前項に規定するもののほか、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 収容人員は、当該施設の所定の人員を超えないこと。

(2) 条例第7条各号のいずれかに該当する者に対しては、当該施設への入場を拒絶し、又は退場を命ずること。

(3) 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に努めること。

(4) 当該施設への入場者に前項に規定する事項を守らせること。

(平成30教規則5・一部改正)

(利用後の点検)

第16条 許可利用者は、施設、設備、備品等の使用を終わつたときは、美術館の管理の業務に従事する者の点検を受けなければならない。

(平成30教規則5・一部改正)

(付属設備の使用料)

第17条 美術館の付属設備の使用料の額は、別表第1のとおりとする。

(撮影等の手数料)

第18条 条例第11条第2項に規定する手数料の額は、別表第2のとおりとする。

(使用料及び手数料の徴収)

第19条 条例第10条第1項第1号の使用料は、利用の開始までに徴収する。

2 手数料は、撮影等の開始までに徴収する。

(平成6教規則13・平成30教規則5・一部改正)

第19条の2 駐車場を利用する者は、自動車を入庫させるときに、駐車券(様式第2号の2)の交付を受けなければならない。

2 駐車場を利用した者が自動車を出庫させるときは、前項の規定に基づき交付を受けた駐車券により、条例第10条第1項第2号の駐車場使用料(以下「駐車場使用料」という。)を清算しなければならない。

(平成30教規則5・追加)

(使用料の還付)

第20条 条例第12条ただし書の規定による使用料の還付は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額について行うものとする。

(1) 天災地変その他不可抗力により利用できなくなつたとき 全額

(2) 許可利用者(展示室の許可利用者を除く。)が利用日の10日

前までに利用取止め届を提出したとき 全額

(3) 許可利用者が利用日の5日前(展示室の許可利用者については3月前)までに利用取止め届を提出したとき 5割相当額

(平成30教規則5・一部改正)

(観覧料の減免)

第21条 条例第13条の規定による観覧料の減免は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額について行うものとする。

(1) 義務教育諸学校の児童又は生徒の引率者が当該義務教育諸学校の教育計画に基づき常設展示を観覧するとき 当該観覧料の全額

(2) 障がい者(療育手帳、身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)に規定する身体障害者手帳又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)に規定する精神障害者保健福祉手帳(以下「療育手帳等」という。)の交付を受けている者をいう。以下同じ。)又は特定医療費(指定難病)受給者証、特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証若しくは小児慢性特定疾病医療受給者証(以下「医療受給者証等」という。)の交付を受けている者が常設展示を観覧するとき 当該観覧料の全額

(3) 障がい者の介護者が常設展示を観覧するとき 介護者1人の当該観覧料の全額

(4) 市内に居住する65歳以上の者が常設展示を観覧するとき 当該観覧料の全額

(5) 美術館の入館者が国民の祝日に関する法律第2条に規定する文化の日に常設展示を観覧するとき 当該観覧料の全額

(6) 前各号に掲げるもののほか、教育長が特に必要と認めるとき 教育長が必要と認める額

2 前項第1号又は第6号の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、福岡市美術館観覧料減免申請書(様式第6号)により教育長に申請しなければならない。ただし、教育長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

3 観覧料の減免を受けようとする者は、次の各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める書類を美術館の管理の業務に従事する者に提示しなければならない。

(1) 第1項第2号の規定により減免を受ける場合 療育手帳等又は医療受給者証等

(2) 第1項第4号の規定により減免を受ける場合 本市が発行するシルバー手帳又は官公署が発行する証明書等(本人の氏名、住所及び生年月日が記載されているものに限る。)

(昭和59教規則3・追加、昭和63教規則15・平成8教規則

7・平成14教規則10・平成14教規則12・平成17教規則9・

平成17教規則12・平成24教規則8・平成27教規則18・平

成29教規則6・平成30教規則5・一部改正)

(使用料の減免)

第22条 条例第13条の規定による使用料(駐車場使用料を除く。)の減免は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額について行うものとする。

(1) 本市が主催し、又は経費の一部を負担して共催する行事に利用するとき 全額

(2) 本市が経費の一部を負担して後援する行事に利用するとき 5割相当額

(3) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関がその行事に利用するとき 全額

(4) 18歳未満の者を主体とする団体が利用するとき 5割相当額

(5) 前各号に掲げるもののほか、教育長が特に必要と認めるとき 教育長が必要と認める額

2 前項の規定により使用料の減免を受けようとする者は、福岡市美術館使用料減免申請書(様式第7号)により教育長に申請しなければならない。ただし、本市が主催する行事に利用する場合は、

この限りでない。

(昭和59教規則3・追加、平成30教規則5・一部改正)

(駐車場使用料の減免)

第22条の2 次に掲げる自動車に係る駐車場使用料は、全額を免除するものとする。

(1) 本市の公用自動車

(2) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関がその行事のために利用する自動車

(3) 障がい者又は医療受給者証等の交付を受けている者が運転し、又は同乗する自動車

(4) 前3号に掲げるもののほか、教育長が特に必要と認める自動車

2 前項第3号の規定により駐車場使用料の減免を受けようとする者は、療育手帳等又は医療受給者証等を美術館の管理の業務に従事する者に提示しなければならない。

(平成30教規則5・追加)

(美術館協議会の会長及び副会長)

第23条 条例第17条に規定する美術館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(昭和59教規則3・旧第21条繰下)

(会議)

第24条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席議員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(昭和59教規則3・旧第22条繰下)

(委任)

第25条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、教育長が定める。

(昭和59教規則3・旧第23条繰下)

附 則

(施行期日)

1 この規則は、昭和54年11月3日から施行する。ただし、第3項の規定は、公布の日から施行する。

(福岡市美術館条例施行規則の廃止)

2 福岡市美術館条例施行規則(昭和53年福岡市教育委員会規則第14号)は、廃止する。

(施行日前における許可等)

3 条例附則第3項の規定による条例の施行の日前における条例の施行の日以後の美術館の利用の許可及び使用料の徴収については、次の各号の定めるところによる。

(1) 美術館の施設の利用の許可については、条例第5条及び第6条並びにこの規則第8条第1項及び第9条の規定の例による。

(2) 使用料の徴収については、条例第4条、第10条、第12条及び第13条並びにこの規則第17条、第19条第1項及び第20条の規定の例による。

附 則(昭和59年3月31日教規則第3号)

(施行期日)

1 この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則による改正後の福岡市美術館条例施行規則別表第1及び別表第2の規定にかかわらず、この規則の施行の日(以下「施行日」という。)前に施行日以後の付属設備の利用又は美術作品等の撮影等について許可を受け、当該利用又は撮影等に係る使用料及び手数料を利用の開始又は撮影等の開始までに納付している者

の当該使用料及び手数料の額については、なお従前の例による。

附 則 (昭和61年 3月31日教規則第 2号)

この規則は、昭和61年 4月 1日から施行する。

附 則 (昭和63年 3月31日教規則第15号)
(施行期日)

- この規則は、昭和63年 4月 1日から施行する。
(経過措置)

- この規則による改正後の福岡市立今宿野外活動センター条例施行規則第12条、福岡市立少年科学文化会館条例施行規則第15条の3及び福岡市美術館条例施行規則第21条第3項中「シルバー手帳」とあるのは、当分の間、「シルバー手帳若しくは老人福祉手帳」とする。

附 則 (平成元年 3月31日教規則第 9号)

この規則は、平成元年 4月 1日から施行する。

附 則 (平成 3年 3月28日教規則第 7号)

この規則は、平成 3年 4月 1日から施行する。

附 則 (平成 5年 3月29日教規則第 1号)

この規則は、平成 5年 4月 1日から施行する。

附 則 (平成 5年 3月29日教規則第 8号)

(施行期日)

- この規則は、平成 5年 4月 1日から施行する。
(経過措置)
- この規則による改正前の福岡市教育委員会規則の規定により作成された様式は、当分の間、なお所要の調整をして使用することができる。

附 則 (平成 5年 6月28日教規則第13号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (平成 6年 3月31日教規則第13号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (平成 7年 3月30日教規則第17号)

(施行期日)

- この規則は、平成 7年 4月 1日から施行する。ただし、別表第1及び別表第2の改正規定並びに次項の規定は、平成 7年 5月 1日から施行する。
(経過措置)

- この規則による改正後の福岡市美術館条例施行規則別表第1及び別表第2の規定にかかわらず、平成 7年 5月 1日前に同日以後の付属設備の利用又は美術作品等の撮影等について許可を受け、当該利用に係る使用料又は撮影等に係る手数料を納付している者の当該使用料及び手数料の額については、なお従前の例による。

附 則 (平成 8年 3月28日教規則第 7号)

この規則は、平成 8年 4月 1日から施行する。

附 則 (平成 9年 3月31日教規則第 5号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (平成12年 3月30日教規則第 1号)

この規則は、平成12年 4月 1日から施行する。

附 則 (平成14年 3月28日教規則第10号)

この規則は、平成14年 4月 1日から施行する。

附 則 (平成14年 7月 1日教規則第12号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (平成17年 3月31日教規則第 9号)

この規則は、平成17年 4月 1日から施行する。

附 則 (平成17年 7月14日教規則第12号)

(施行期日)

- この規則は、平成17年 7月15日から施行する。
(経過措置)
- この規則による改正前の福岡市教育委員会規則の規定により作成された様式は、当分の間、なお所要の調整をして使用することができる。

附 則 (平成18年10月30日教規則第 9号)

この規則は、平成18年11月 1日から施行する。

附 則 (平成19年 3月29日教規則第 8号)

この規則は、平成19年 4月 1日から施行する。

附 則 (平成19年 6月28日教規則第10号)

この規則は、平成19年 7月 1日から施行する。

附 則 (平成22年 3月29日教規則第 2号)

この規則は、平成22年 4月 1日から施行する。

附 則 (平成24年 3月29日教規則第 8号)

この規則は、平成24年 4月 1日から施行する。

附 則 (平成27年10月 8日教規則第18号)

この規則は、平成27年11月 1日から施行する。

附 則 (平成29年 3月30日教規則第 6号)

この規則は、平成29年 4月 1日から施行する。

附 則 (平成30年 3月29日教規則第 5号)

(施行期日)

- この規則は、福岡市美術館条例の一部を改正する条例(平成30年福岡市条例第40号)の施行の日から施行する。
(経過措置)

- この規則による改正前の福岡市美術館条例施行規則の規定により作成された様式は、当分の間、なお所要の調整をして使用することができる。

附 則 (平成30年10月 1日教規則第15号)

(施行期日)

- この規則は、平成31年 3月21日から施行する。
(施行日前における利用の許可等)

- この規則の公布の日以後においては、この規則の施行の日前においても、同日以後の美術館の付属設備の利用について、この規則による改正後の福岡市美術館条例施行規則の規定の例により許可をし、及び使用料を徴収することができる。

- 別表第 1
- (昭和59教規則 3・平成 7教規則17・平成30教規則15・一部改正)

種別	区分	単位	金額(円)
展示設備	可動陳列ケース	1台1日	330
映写設備	スライド映写機	一式1時間	440
	8ミリ映写機	一式1時間	440
	16ミリ映写機	一式1時間	770
	プロジェクター	1台1時間	720
	書画カメラ	1台1時間	440
音響照明設備	ブルーレイプレイヤー	1台1時間	200
	スポットライト	一式1時間	220
	マイクロホン	一式1時間	220
	メモリーオーディオプレイヤー	1台1時間	200

備考 付属設備の使用時間に1時間未満の端数があるときは、これを切り上げる。

- 別表第 2
- (昭和59教規則 3・平成 7教規則17・一部改正)

区分		金額(円)	備考
撮影	モノクローム	A	220
		B	1,650
	カラー	A	440
		B	2,200
模写、模造		1,650	
熟覧		330	

様式第 1号

福岡市美術館施設利用許可申請書			
(宛先)福岡市教育委員会教育長		年 月 日	
申請者	所在地		
	団体名		
	代表者		
	(電話)		
次のとおり福岡市美術館の施設を利用したいので、許可を申請します。 なお、利用に際しては、福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに、これらに基づく美術館の管理の業務に従事する者の指示に従います。			
利用する施設		会場責任者氏名	(電話)
利用期間	展示室	年 月 日から 年 月 日まで	搬入 (時 分から 時 分まで)
	その他の施設	年 月 日(曜) 時 分から 年 月 日(曜) 時 分まで	展示 月 月 日から 搬出 (時 分から 時 分まで)
利用目的	催物の名称		
入場料	有料 (大人 円、学生 円、小人 円)	無料	入場者見込 延べ 人
館内での頒布物	有(有料・無料) 無		
共催	後援		
利用する付属設備	1 () 3 () 5 () 2 () 4 () 6 ()		
使用料	施設 円	付属設備 円	計 円
(年度)			

(注) 1 利用期間には、搬入、搬出の日も含まれます。
2 太枠線内のみ記入してください。

様式第 2号

福岡市美術館施設利用許可書		第 号
様		年 月 日
福岡市教育委員会教育長 園		
年 月 日申請の福岡市美術館の施設の利用については、次のとおり許可します。		
利用する施設		
利用期間	展示室	年 月 日から 年 月 日まで
	その他の施設	年 月 日 時 分から 年 月 日 時 分まで
利用目的		
催物の名称		
利用する付属設備	1 () 3 () 5 () 2 () 4 () 6 ()	
留意事項	1 福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに、これらに基づく美術館の管理の業務に従事する者の指示に従ってください。 2 搬入及び搬出は、次の日時に行ってください。 搬入 年 月 日 時 分から 時 分まで 搬出 年 月 日 時 分から 時 分まで	

様式第2号の2

入 月 日 時 分
出 月 日 時 分
駐車券【兼料金票】
福岡市美術館専用駐車場

様式第3号

福岡市美術館施設利用取止め届			
		年 月 日	
(宛先)福岡市教育委員会教育長			
申請者 所在地			
団体名			
代表者		◎	
		(電話)	
次とおり利用を取り止めますので、福岡市美術館条例施行規則第10条の規定によりお届けします。			
許可年月日	年 月 日	許可番号	第 号
利用期間	年 月 日 時 分から 年 月 日 時 分まで		
利用の取止めをする施設又は付属設備			
既納使用料	使用料 円	付属設備使用料 円	
取止めの理由			

様式第4号

撮 影 等 許 可 申 請 書				
		年 月 日		
(宛先)福岡市美術館長				
申請者 住 所				
氏 名		(電話)		
次とおり美術作品等の撮影等をしたので、許可を申請します。 なお、撮影等に際しては、福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに、これらに基づく美術館の管理の業務に従事する者の指示に従います。				
撮影等の目的				
美術品等の名称	点 数	作 者 名		
撮影等の日時				
方 法	撮 影 ・ 模 写 ・ 模 造 ・ 熟 覧			
備 考				
手数料	モノクローム	点	円	計
	カラ ー	点	円	
	模 写 ・ 模 造	点	円	
	熟 覧	点	円	
(注) 太枠線内のみ記入してください。				

様式第5号

撮 影 等 許 可 書			
		第 号	
		年 月 日	
様 福岡市美術館長 図			
年 月 日申請の美術作品等の撮影等を許可します。			
撮影等の目的			
美術品等の名称	点 数	作 者 名	
撮影等の日時			
方 法	撮 影 ・ 模 写 ・ 模 造 ・ 熟 覧		
留 意 事 項	1 福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに、これらに基づく美術館の管理の業務に従事する者の指示に従ってください。 2 撮影等に当たっては、美術館の管理の業務に従事する者の指示に従ってください。		

様式第6号

福岡市美術館観覧料減免申請書			
		年 月 日	
(宛先)福岡市教育委員会教育長			
申請者 所在地			
団体名			
代表者		◎	
		(電話)	
福岡市美術館条例施行規則第21条第2項の規定により次とおり福岡市美術館観覧料の減免を申請します。			
観覧目的			
観覧日時	年 月 日(曜日) 時 分から		
観覧者数	小学生	学年	人
	中学生	学年	人
	その他		人
	引率者		人

様式第7号

福岡市美術館使用料減免申請書

年 月 日

(宛先)福岡市教育委員会教育長

申請者 所在地
団体名
代表者
(電話)

福岡市美術館条例施行規則第22条第2項の規定により次のとおり福岡市美術館使用料の減免を申請します。

事業名	
主催者名 (共催者名)	
後援者名	
利用施設	
利用期間	年 月 日(曜日) 時 分から 年 月 日(曜日) 時 分まで
本後市費が負担する経費の額	円
※本市が負担する経費の額 当該事業に要する経費の総額	円
備 考	

(注) ※印の欄は、経費を負担する市の担当課において記入を受けてください。

利用案内

開館時間

9：30～17：30（7～10月の金・土曜日は9：30～20：00）

※入館は閉館の30分前まで。

休館日

月曜日／年末年始

※月曜日が祝日・振替休日の場合はその後の最初の平日

※年末年始休館期間は12月28日～1月4日

観覧料

【コレクション展・企画展】

一般200円（150円）、高大生150円（100円）、中学生以下無料

ただし、以下の証明書等保持者は提示で観覧無料。

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保険福祉手帳（以上は介護者1人を含む）／特定医療費（指定難病）受給者証／特定疾患医療受給者証／先天性血液凝固因子障害等医療受給者証／小児慢性特定疾病医療受給者証／福岡市、北九州市、熊本市、鹿児島市在住の65歳以上の方は住所と生年月日がわかるもの（健康保険証、運転免許証等）

※（ ）内は20名様以上の団体料金。

※交通系ICカード等利用可。

【特別展】

特別展によって金額が異なる。

交通案内

【福岡市地下鉄】

空港線 大濠公園駅（福岡市美術館口）下車、
3・6番出口より徒歩10分

七隈線 六本松駅（科学館前）下車、
2番出口より徒歩10分

【西鉄バス】

系統番号13・140 福岡市美術館東口下車、徒歩3分

系統番号6・7・12・113・114・200～206・208

赤坂三丁目下車、徒歩5分

系統番号6-1 福岡城・NHK放送センター入口下車、
徒歩3分

【車】

福岡都市高速「西公園ランプ」から約5分

福岡都市高速「百道ランプ」から約10分

【福岡市美術館専用駐車場】

利用時間 午前9時～午後9時（開館日のみ）

使用料 普通車（26台）：1時間200円、

バス（5台）：1回2,000円／要事前予約



令和3年度

福岡市美術館活動の記録

編集・発行 福岡市美術館

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6

TEL: 092-714-6051

印刷 株式会社西日本新聞プロダクツ

発行年月日 2023年1月31日

©福岡市美術館 2023年